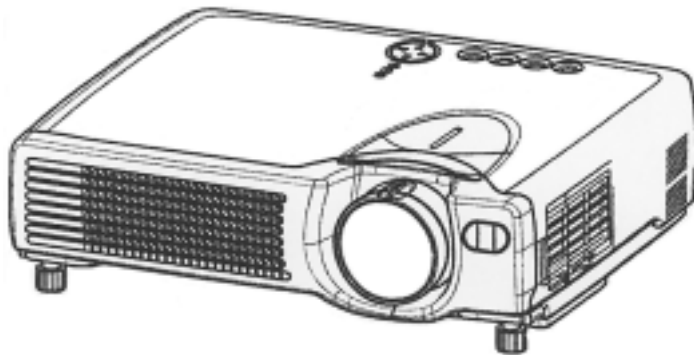


液晶データプロジェクター

EDP-S100

取扱説明書



ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

特 長

本機は、各種のコンピュータ信号およびNTSC/PAL/SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型液晶プロジェクターです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

● 高 輝 度

UHBランプ、高効率光学系の採用により、高輝度を実現。

● 台形歪み補正機能

歪みのない画像をすばやく再現。

● 拡 大 機 能

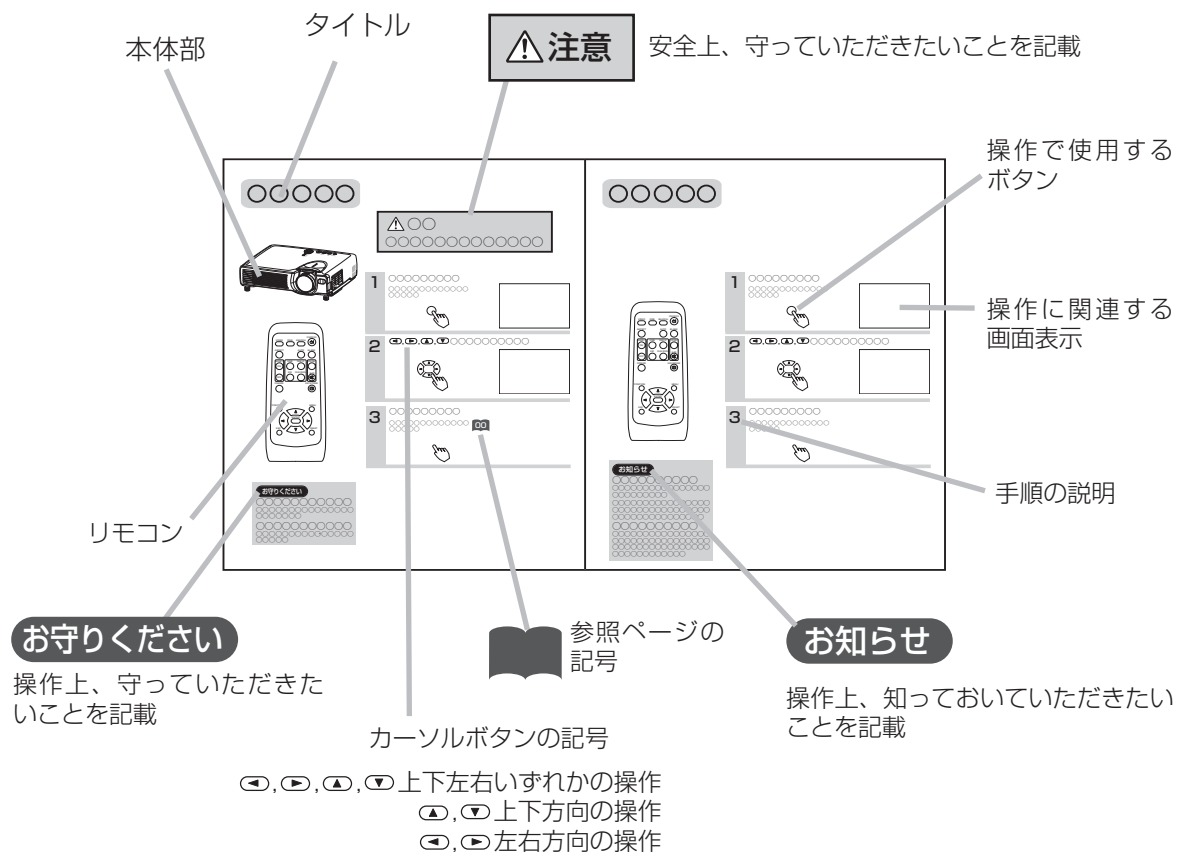
お好みの部分を拡大表示できる「拡大」機能を装備。

● 騒音低減機能

プロジェクター使用時の騒音を低減。

本書の見かた

下図をご参考に本書をお読みください。



もくじ

はじめに

特 長	2
本書の見かた	2
使用上のご注意	4
安全上のご注意	4
お守りください	8
お使いになる前の準備	10
各部の名称	12
本体	12
リモコン	13

設 置

本機を設置するには	14
アジャスターの使いかた	14
本機とスクリーンを設置する	15
お持ちの機器の接続	16
接続できる機器	16
接続端子とケーブルについて	16
パソコンとの接続	17
DVDプレイヤーとの接続	18
ビデオレコーダーとの接続	18
ディスプレイとの接続	18

基本的な使いかた

リモコンの使いかた	19
リモコンに電池を入れる	19
リモコン操作について	19
電源の入れかた	20
入力信号を選択する	21
電源の切りかた	22
音量を調節する	23
音声を一時的に消す	23
画面位置を調節する	24
自動的に画面調節する	24
台形歪みを補正する	25
画面を拡大する	25
画像を静止させる	26
映像をサーチさせる	26
画面の縦横比を選ぶ	26
画面を一時的に消去する	26
メニュー機能の使いかた	27

各種機能の設定

各種機能の設定	28
メインメニュー	28
映像1メニュー	29
映像2メニュー	29
入力メニュー	30
スクリーンメニュー	31
その他のメニュー	32

お手入れ

ランプについて	33
ランプ交換の目安	33
ランプの交換について	34
エアーフィルターについて	35
エアーフィルターのお手入れ	35
エアーフィルターの交換	36
その他のお手入れについて	37

付 録

信号入／出力端子ピン配置	38
コンピュータ信号について	39
初期設定信号について	40
パーソナルコンピュータの画面を操作する	41
RS-232C通信について	43
RS-232Cコマンド一覧	45

ご 参 考

故障かな？と思ったら	49
メッセージについて	49
インゲージランプについて	50
故障と間違えやすい現象について	51
仕 様	52

使用上のご注意

ご使用のまえに

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



「破裂注意」



してはいけない。「禁止」を示します。



「分解禁止」



必ず行う。「強制」を示します。



「電源プラグをコンセントから抜くこと」

安全上のご注意

⚠ 警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がある、本機および電源コード、ケーブル類などに損傷がある、本機の内部に異物（水、金属など）が入った、などの異常や故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜くこと

●電源プラグはすぐに抜くことができるように設置する。

■子供やペットに注意する



本機や付属品（リモコン、電池など）の取り扱いを誤ると、火災、感電、けが、火傷、視力障害などの原因となります。お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には、十分注意してください。

警告

■異物や液体を入れない



内部に金属類などの異物や水などの液体が入ると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 風呂場やシャワー室、屋外や水辺など、ぬれるところに置かない。
- 花瓶、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを近くに置かない。
- 金属や、燃え易いものなどを近くに置かない。

■分解したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

分解禁止

■衝撃を与えない



落としたりぶつかけたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

■不安定な場所に置かない



落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定なところに置かない。
- キャスター（車）付きの台にのせる場合はキャスター止めをする。
- 横向き、レンズの上向き、下向きには置かない。
- 天吊り設置は、必ず事前に販売店に相談する。

■高温に注意する



使用中や使用後しばらくは、本機のレンズや通風口から出る空気は高温になり、火災、火傷の原因となります。また、内部の温度が上がりすぎると故障の原因となることがあります。

- 使用中や使用後しばらくはレンズや通風口の付近に触れない。
- 風通しの良い場所に、周囲の壁や物から30cm以上離して設置する。
- 金属などの熱が伝わり易い台の上で使用しない。
- レンズや通風口の近くに物を置かない。
- 通風口を塞がない。
- 通風口のある面を下にして置かない。
- テーブルクロスや布などをかぶせない。
- カーペットや布団の上に置いて使用しない。

■レンズをのぞかない



ランプの点灯中は強い光が投射されていますので、視力障害などの原因となります。絶対にのぞかないでください。

■指定（本体に表示）の電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外でのご使用は、火災、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどに触れない



感電の原因となります。

接触禁止

警告

■電源は正しく接続する



電源コードの取り扱いを誤ると火災、火傷の原因となります。

- ぬれた手で電源コードに触れない。
- 電源プラグや周辺に付着したほこりや金属類は、接続まえに乾いた布で拭き取る。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しない。

■アース線は接続する



アース線を
接続する

アース線を接続しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。必ず接地接続を行ってください。

電源コードは必ず本機に付属のものをご使用ください。2つ穴プラグのコンセントを使用する場合は付属の電源プラグアダプターをご使用ください。電源プラグアダプターは、必ず、電源プラグを電源につなぐ前に、アース線を接続してご使用ください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

■ランプの取り扱いに注意する



破裂注意

ランプはガラス製で寿命のある製品です。ランプの取り扱いを誤ると火傷の原因や、破裂してけがの原因となります。

ランプ交換の際は必ず本書の「ランプについて」の項をお読みになり、「仕様」の項に記載の交換用ランプの型名をご確認のうえ、販売店にご連絡ください。

- ランプに衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
- ランプ交換は高温状態で行わない。電源スイッチを切って十分冷ましてから行う。
- 交換用ランプは、本書に指定の、新しい（未使用）ランプを使う。
- 廃棄は、廃棄を行う地域の法律や条令に従って正しく行う。

■電源コードや接続ケーブルを傷つけない



損傷のある電源コードや接続ケーブルを使用すると火災、感電の原因となります。

電源コードや接続ケーブルに損傷がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- 本機や重いものを乗せない。
- ケーブル部分を持って引っ張らない。
- 加熱しない。本機のレンズや通風口、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
- 無理に曲げたり、加工したりしない。

■電池の取り扱いに注意する



電池（リモコン用）の取り扱いを誤ると火災や人体への傷害の原因、破裂してけがや周囲の汚損の原因となります。

電池交換の際は、必ず本書の「リモコンの使いかた」の項をお読みください。

- 電池は子供やペットの届かないところに保管する。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談する。
- 電池を火や水の中に入れない。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管する。
- 電池に衝撃を与えたり、傷つけたりしない。分解、半田付けなど、加工しない。
- 電池を充電したり短絡したりしない。電池をピンセットなどの金属製の物で持たない。
- 交換電池は、本書に指定の、新しい（未使用）電池を使うこと。
- 電池を入れるときは、リモコンの極性表示（ $\oplus$ 、 $\ominus$ ）に注意して正しく入れる。
- 電池が液漏れした場合は、漏れ液を布などで拭き取って新しい電池に交換する。漏れ液には直接触れない。皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄する。
- 廃棄は、廃棄を行う地域の法律や条令に従って正しく行う。

⚠ 注 意

■移動や運搬のときに衝撃を与えない

落としたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

落としたりぶつけたりしないように注意してください。



- 使用中には移動しない。移動時は、予め電源コードやケーブルの接続を外し、レンズはレンズキャップを取り付けるか、レンズドアのある製品はレンズドアを閉じて保護する。
- キャリングバッグが付属されている製品の持ち運びにはこれを使用する。
- 引越しや修理などで搬送する場合は、本機用の梱包材を使用する。

■本機の上に乗ったり、物を置いたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりすると、けがや火傷、破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多いところ、

煙草の煙や油煙、湯気などがあたるところに置かない



火災、感電の原因となったり、故障や不具合の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器の近くに置かない。
- 喫煙所や、喫煙者のいるところに置かない。

■高温になるところに置かない



火災、感電の原因やキャビネットが傷む原因となることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
- 通風口のある面を下にして使用しない。

■使用しないときは電源プラグを抜く



電源の完全な切断のためには電源スイッチを切るだけでなく電源プラグを抜いてください。

- 長時間使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
- お手入れやランプ交換のときなどは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

電源プラグを
コンセントか
ら抜くこと

■2年に1度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりがたまった状態で使用し続けると、火災、感電の原因となることがあります。

内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

お客様による内部のお手入れは危険ですのでおやめください。

お守りください

■リモコンに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- リモコンを投げたり、落としたりしないでください。
- リモコンに重い物を乗せないでください。

■レンズの取り扱いにご注意ください

レンズが傷つくと破損や故障の原因となることがあります。くもりや汚れは画像品質に悪い影響を及ぼすことがあります。

- 使用しないときはレンズキャップを取り付け、レンズドアのある製品はレンズドアを閉じてください。
- レンズには直接手を触れないでください。
- レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）で行ってください。レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。

■エアーフィルターのお手入れについて

エアーフィルターがほこりや汚れでつまると、内部温度が上昇して故障の原因となることがあります。

内部温度の上昇を防ぐために電源が自動的にOFFになったり、「吸気口をチェックしてください（CHECK THE AIR FLOW）」などのメッセージが表示されたりすることがあります。

お手入れの際は、本書の「エアーフィルターについて」の項をお読みください。エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて清掃しきれない場合は交換が必要です。本書の「仕様」の項に記載の交換用フィルターの型名をご確認のうえ、販売店にご連絡ください。

- エアーフィルターを外した状態で電源を入れないでください。

■キャビネット、リモコンのお手入れについて

誤った取り扱いは表面の変質や塗装がはがれる原因となることがあります。

お手入れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞り、軽く拭いた後、別の乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。中性洗剤の原液は使用しないでください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- スプレーは使用しないでください。
- ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- 化学ぞうきんのご使用については、その注意書に従ってください。

■結露にご注意ください

本機を低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機内部の投射レンズやミラーに結露が生じ、画面がぼやけたり見えなくなったりすることがありますのでご注意ください。

本機が周囲の温度に慣れるに従い、露が消えて画像は正常に戻ります。

■強い光を避けてください

直射日光や照明などの強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常に働かない場合があります。

- 光源は遠ざけてください。

■電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、画像が乱れたり、スピーカーから雑音を発生したりする原因となることがあります。

- 携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

■映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投射装置です。投射面（スクリーンや壁）の特性により、画像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのCRTモニタとは異なることがあります。

- 偏光スクリーンは使用しないでください。画面が赤味を帯びて見える場合があります。

■ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

■電源オン、電源オフの順序について

接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、本機の電源オンはコンピュータやビデオより先に、電源オフはコンピュータやビデオより後に、行ってください。

■同一映像を長時間投映しないでください

同一映像を長時間投映すると、その映像が残像として残ることがあります。

■目の疲れにご注意ください

長時間のご使用は目が疲れる原因となります。ときどき画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量でご使用ください

隣近所へ十分配慮して、適度な音量で使用してください。特に夜間は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

お使いになる前の準備

はじめに付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

お守りください

- 取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。
- 梱包材は、修理や引越しの時のために保管しておいてください。



RGBケーブル



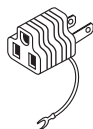
AUDIO/VIDEO
ケーブル



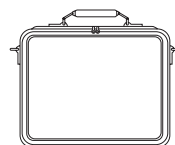
マウスケーブル
(USB)



電源コード



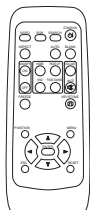
電源プラグアダプター



ソフトキャリング
バッグ



取扱説明書
(本書)



リモコン



単3形乾電池×2個
(リモコン用)



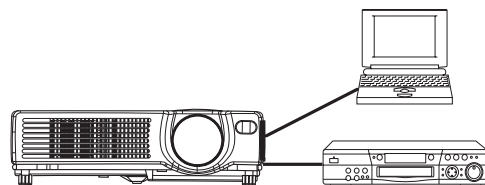
保証書

⚠ 警告 電源接続についてのご注意： 誤った接続は、火災、感電の原因となります。

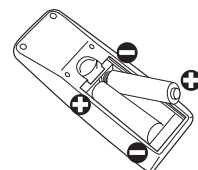
- 指定の電源電圧でご使用ください。
- 電源コードおよび電源プラグアダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。
- 電源プラグアダプターをご使用の場合は、必ず電源プラグを電源に接続する前に、アース線を接続してご使用ください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードと本機やアダプタ、コンセントへの接続は、接続部を根元まで確実に差し込んでください。

1 お手持ちの機器をつなぐ 16 ~ 18

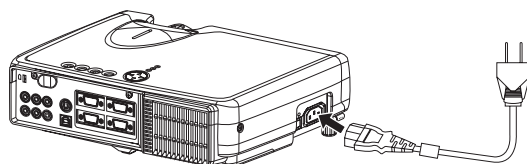
パソコンやビデオデッキなどを接続します。



2 リモコンに電池を入れる 19

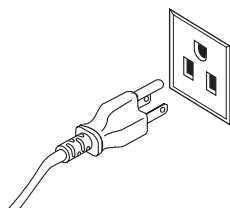


3 電源コードを接続する



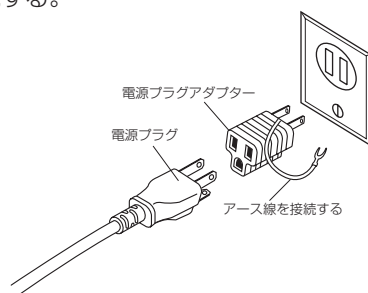
3つ穴コンセントを使用する場合

- (1) 電源コードのコネクター側を本体のACインレットに接続する。
- (2) 電源プラグをコンセントに接続する。



2つ穴コンセントを使用する場合

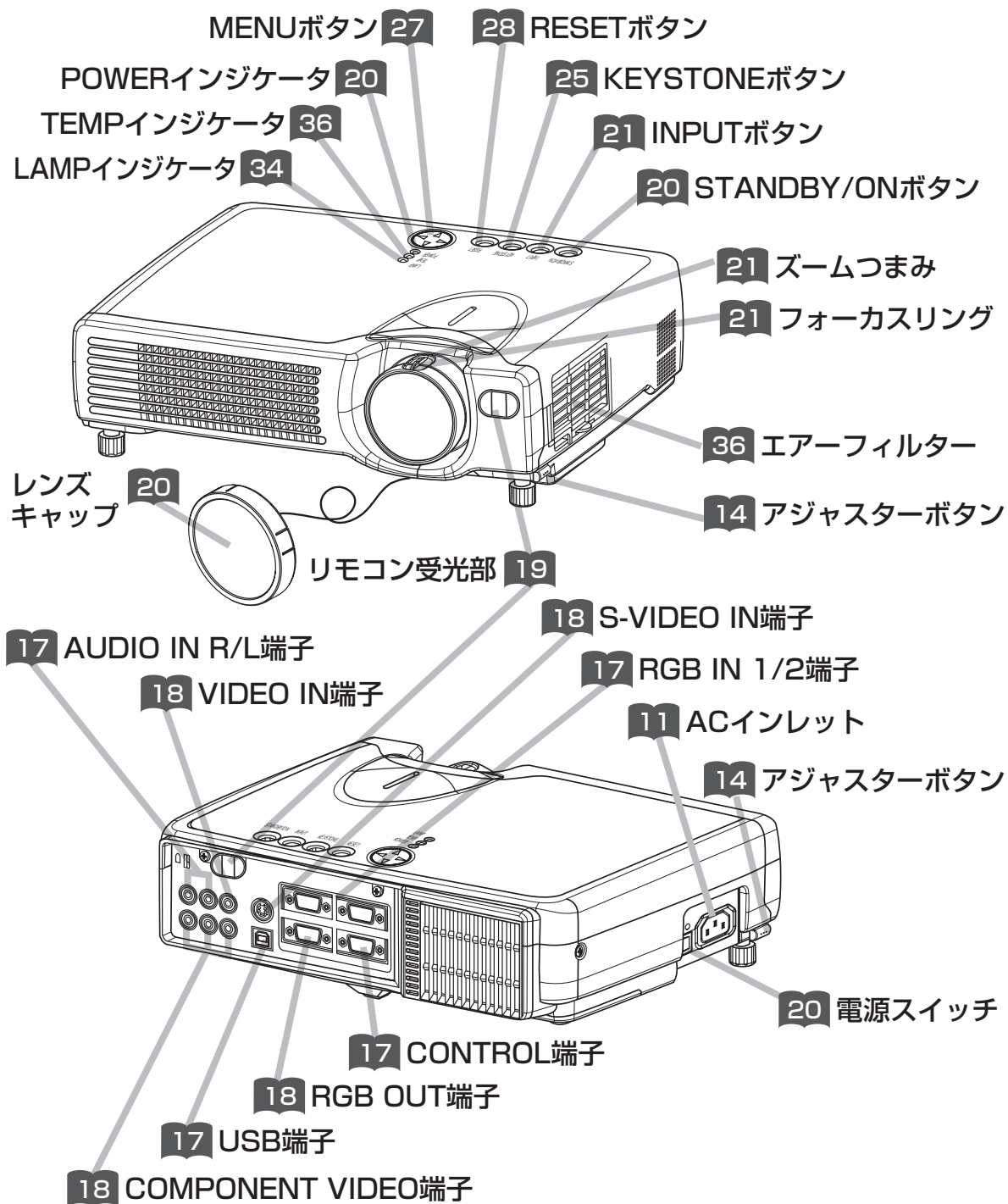
- (1) 電源プラグアダプターのアース線を接地する。
- (2) 電源プラグアダプターをコンセントに接続する。
- (3) 電源コードのコネクター側を本体のACインレットに接続する。
- (4) 電源プラグを電源プラグアダプターに接続する。



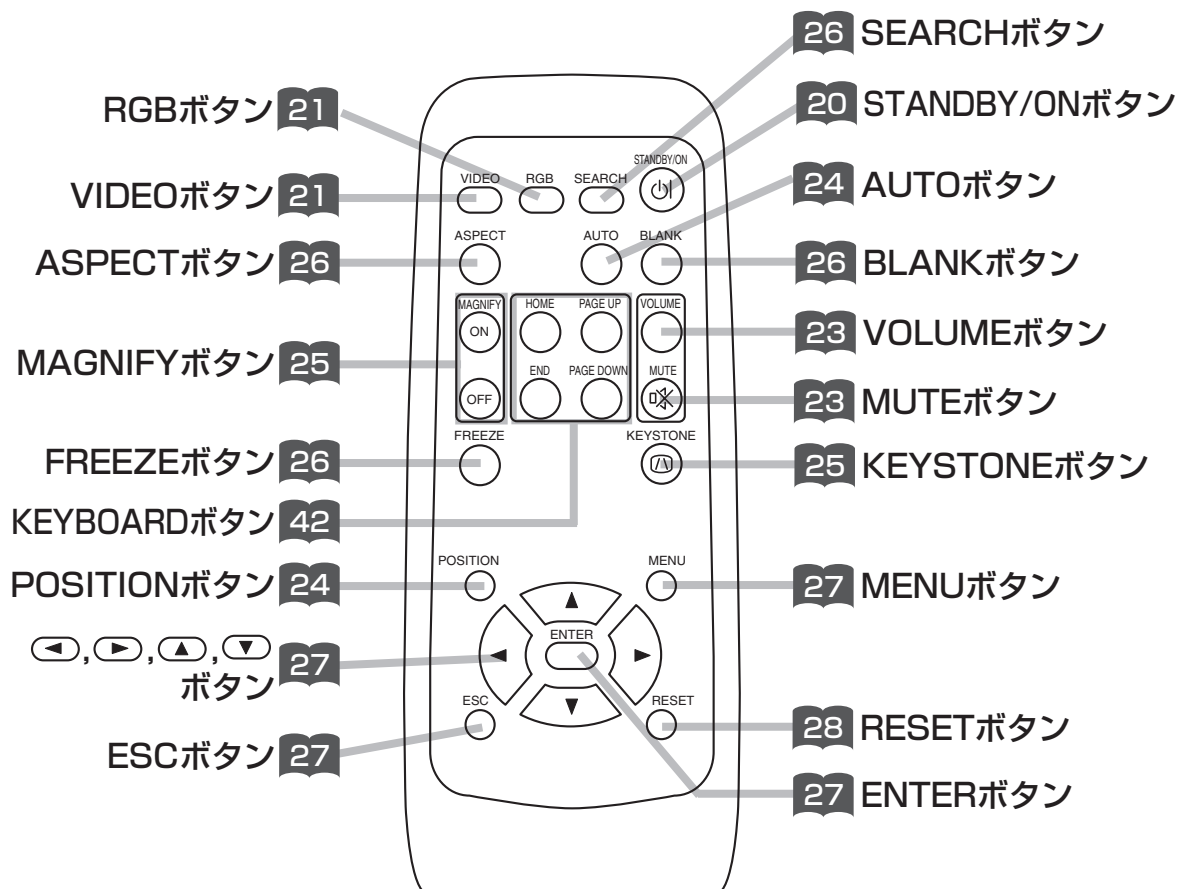
各部の名称

本 体

内の数字は、参照ページです。



リモコン



本機を設置するには

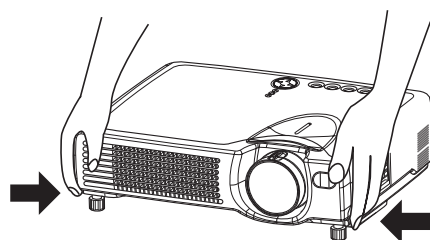
⚠ 注意

- 誤った設置は火災、感電、けがなどの原因となることがあります。予め本書の「使用上の注意」をよくお読みください。
- 本機を保持しないでアジャスターボタンを押すと、本機が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。アジャスターボタンは必ず本機を持った状態で押してください。

アジャスターの使いかた

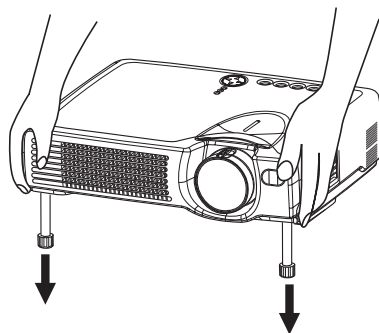
設置面やスクリーンなどに傾きがあるときなどに、アジャスターを調節してください。角度の調節は、 0° ～ 9° の範囲で調節できます。

1 アジャスターボタンを押す

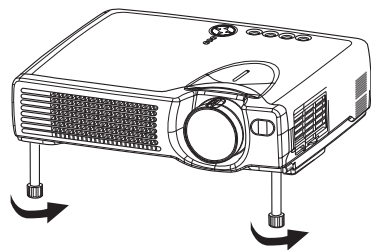


2 プロジェクターを持ち上げ、高さを調節して、アジャスターボタンから手をはなす

アジャスターボタンから手をはなすとアジャスターが固定されます。



3 アジャスターをまわし、微調節する



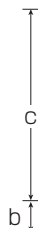
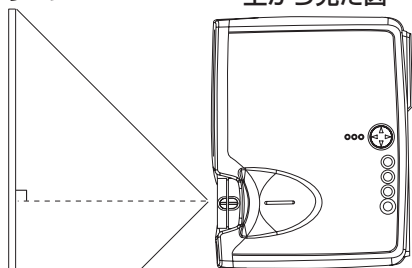
本機とスクリーンを設置する

下図および下表を参考に画面サイズと
 投射距離をきめてください。

フルサイズ (800×600ドット) のときの、
 a: プロジェクタからスクリーンまでの距離 (±10%)
 b: レンズセンターから画面下端までの長さ (±10%)
 c: レンズセンターから画面上端までの長さ (±10%)

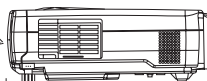
スクリーン

上から見た図



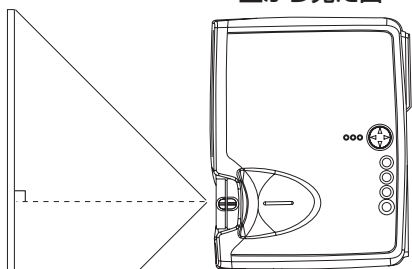
レンズセンター

横から見た図



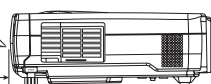
4 : 3スクリーン

上から見た図



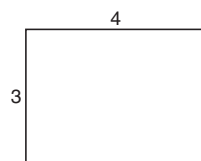
レンズセンター

横から見た図



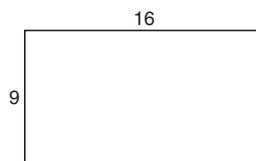
16 : 9スクリーン

4 : 3スクリーンのとき



スクリーンサイズ [m(型)]	a[m]		b [cm]	c [cm]
	最小	最大		
0.8 (30)	0.9	1.1	2	44
1.0 (40)	1.2	1.4	3	58
1.3 (50)	1.5	1.8	4	73
1.5 (60)	1.8	2.2	4	87
1.8 (70)	2.1	2.5	5	102
2.0 (80)	2.4	2.9	6	116
2.3 (90)	2.7	3.3	7	131
2.5 (100)	3.0	3.6	7	145
3.0 (120)	3.6	4.4	9	174
3.8 (150)	4.6	5.5	11	218
5.0 (200)	6.1	7.3	15	290
6.3 (250)	7.6	9.2	18	363
7.5 (300)	9.2	11.0	22	435

16 : 9スクリーンのとき



スクリーンサイズ [m(型)]	a[m]		b [cm]	c [cm]
	最小	最大		
0.8 (30)	1.0	1.2	4	41
1.0 (40)	1.3	1.6	5	55
1.3 (50)	1.6	2.0	6	69
1.5 (60)	2.0	2.4	8	82
1.8 (70)	2.3	2.8	9	96
2.0 (80)	2.6	3.2	10	110
2.3 (90)	3.0	3.6	12	124
2.5 (100)	3.3	4.0	13	137
3.0 (120)	4.0	4.8	15	165
3.8 (150)	5.0	6.0	19	206
5.0 (200)	6.6	8.0	26	275
6.3 (250)	8.3	10.0	32	343
7.5 (300)	10.0	12.0	39	412

お手持ちの機器の接続

接続できる機器

(下記から入力端子数に合わせて、お選びください。)

⚠ 注意

- 誤った設置は火災、感電、けがなどの原因となることがあります。予め本書の「使用上の注意」をよくお読みください。

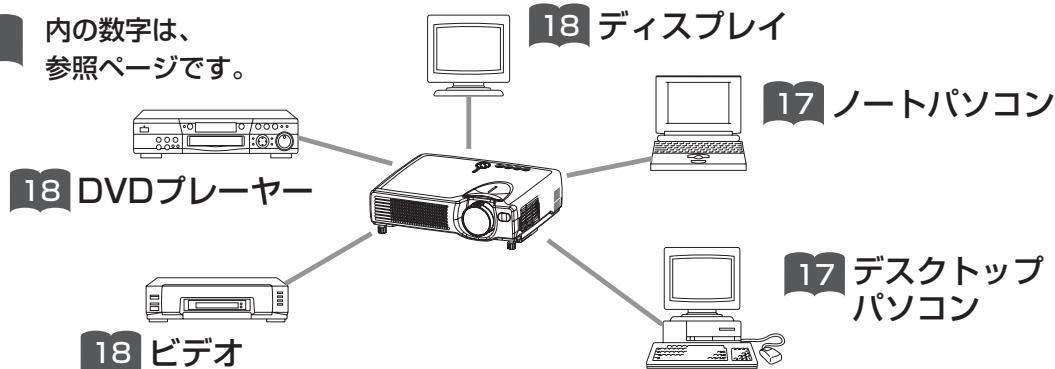
お守りください

接続時のご注意

- 他の機器と組み合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 本機の各端子のピン配列やRS-232C通信コマンドについては、本書の「付録」をご覧ください。
- 接続ケーブルは付属または所定のものをご使用ください。片端にだけコアがついているケーブルは、コア側をプロジェクターに接続してください。
- Dサブコネクタの接続はネジで固定してください。



内の数字は、
参照ページです。



接続端子とケーブルについて

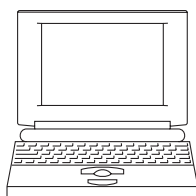
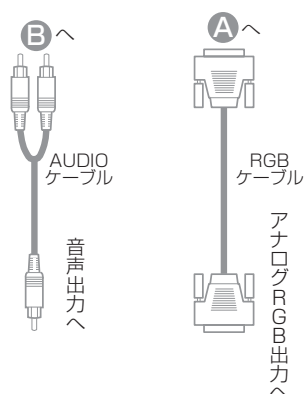
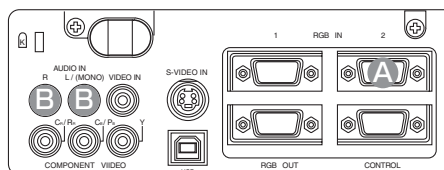
本機の接続端子と接続に使用するケーブルは、下表のようになっています。下表を参考に接続に使用するケーブルをご用意ください。

機 能	プロジェクターの端子	接続ケーブル
RGB入力	RGB IN 1	RGBケーブル (Dサブ15ピンシュリンク、インチネジ付) (付属/別売)
	RGB IN 2	
RGB出力	RGB OUT	
USBマウスコントロール	USB	USBケーブル (付属)
PS/2マウスコントロール	CONTROL	PS/2マウスケーブル (別売)
ADBマウスコントロール		ADBマウスケーブル (別売)
シリアルマウスコントロール		シリアルマウスケーブル (別売)
RS-232C通信		RS-232Cケーブル (別売)
Sビデオ入力	S-VIDEO IN	S-VIDEOケーブル (ミニDIN4ピン) (別売)
ビデオ入力	VIDEO IN	AUDIO/VIDEOケーブル (付属)
コンポーネントビデオ入力	COMPONENT VIDEO Y	COMPONENT VIDEOケーブル (別売)
	COMPONENT VIDEO Cb/Pb	
	COMPONENT VIDEO Cr/Pr	
音声入力	AUDIO IN L	AUDIO/VIDEOケーブル(付属)または AUDIOケーブル(RCAジャック)(別売)
	AUDIO IN R	

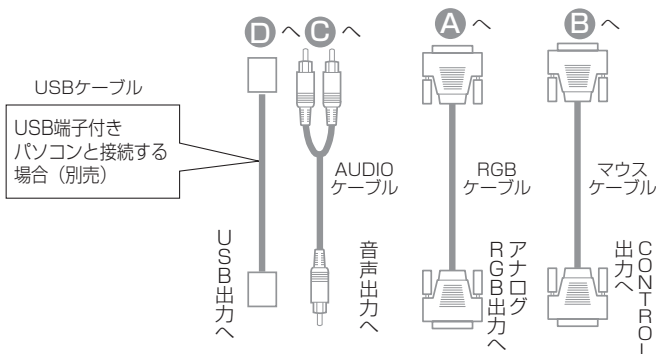
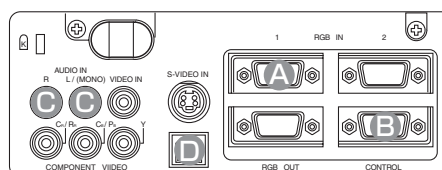
パソコンとの接続

お守りください

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効に(LCDとCRT同時表示、またはCRT表示に設定)してください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。



ノートパソコンのとき



デスクトップパソコンのとき

お知らせ

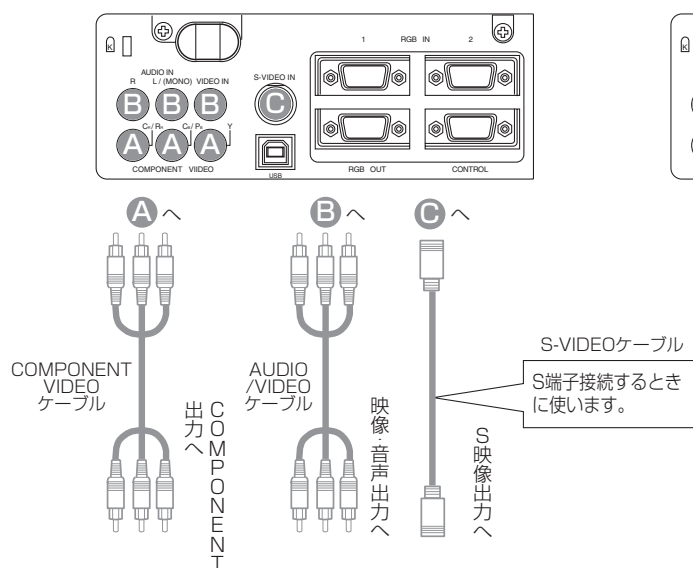
- コンピュータが複数の表示モードを持っている場合には、本機が対応できないモードが含まれる場合があります。
- Appleコンピュータとの接続には、別売のMacアダプターが必要です。

プラグ&プレイについて

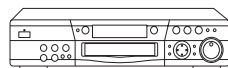
- 本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC(Display Data Channel)に対応のコンピュータに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。プラグ&プレイ機能をご使用になる場合は、本機のRGB IN 1端子(DDC 1/2B対応)とコンピュータを付属のRGBケーブルで接続してください。その他の端子やケーブルによる接続ではプラグ&プレイは機能しない場合があります。
- プラグ&プレイは、コンピュータと、表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
- 本機は「プラグ&プレイモニタ」として認識されます。この際、ディスプレイドライバは標準のものををご使用ください。
- 接続するコンピュータによっては、プラグ&プレイが動作しない場合があります。プラグ&プレイが正常に動作しない場合には、RGB IN 2端子をご使用ください。

お手持ちの機器の接続 (つづき)

DVDプレーヤーとの接続

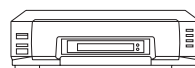
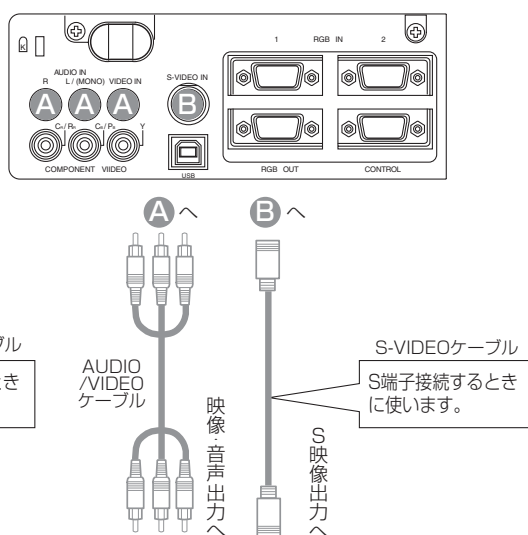


COMPONENT接続のとき VIDEO, AUDIO接続のとき



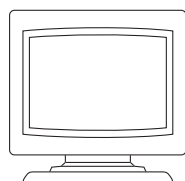
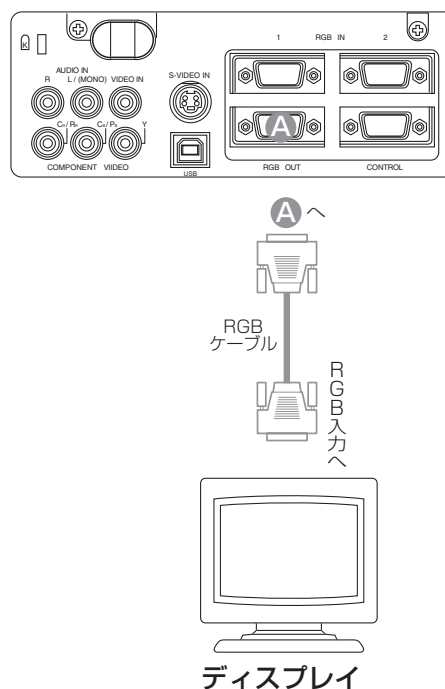
DVDプレーヤー

ビデオレコーダーとの接続



ビデオレコーダー

ディスプレイとの接続



ディスプレイ

リモコンの使いかた

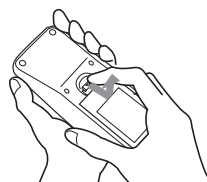
リモコンに電池を入れる

⚠ 注意 電池の使用上のご注意：電池は正しく取り扱ってください。誤った取り扱いは電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚染する原因となることがあります。

- 電池はお子様やペットの届かない所に保管してください。
- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。
- 電池を廃棄するときは、廃棄を行う地域の法律や条令に従ってください。

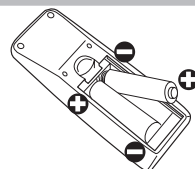
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。



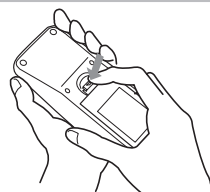
2 電池を入れる

単3形乾電池を⊕、⊖ の表示どおりに入れます。



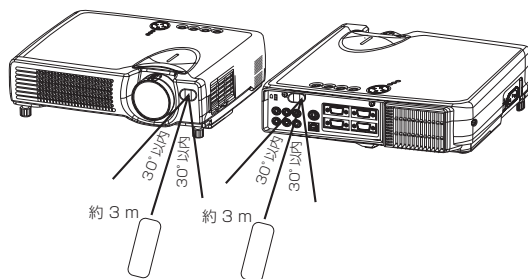
3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



リモコン操作について

- リモコンは、本機の前面・後面のリモコン受信窓のどちらに向かってでも操作することができます。それぞれのリモコン受光部の正面から約3m、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- リモコンは赤外線でプロジェクターに信号を送っています。（クラス1 LED製品）リモコンとプロジェクターのリモコン受光部の間に障害物があると、プロジェクターに信号が届かなくなりますので、障害物がない場所でお使いください。



お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間で使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出して保管してください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、電池を交換してください。
- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光などの強い光や至近距離からのインバータ蛍光灯の光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにプロジェクターの向きを変えてください。

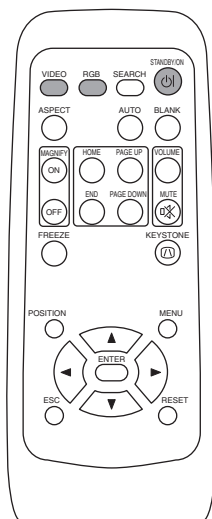
電源の入れかた

準備

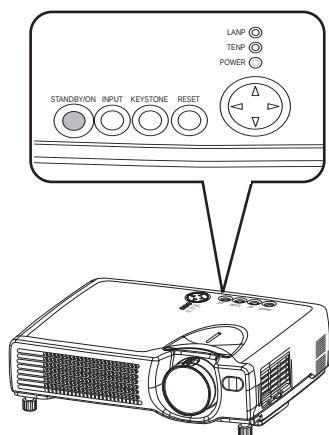
本機の電源を入れる前にお手持ちの機器と接続してください。 16 ~ 18

⚠ 警告

電源がオンになると強い光が投射されます。レンズをのぞかないでください。



コントロールパネル



お知らせ

接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合には、本機の電源オンはコンピュータやビデオより先に、電源オフはコンピュータやビデオより後に行ってください。

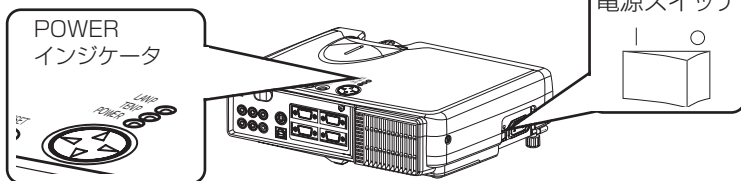
1

電源コードが正しく接続されていることを確認する 11

2

本体の電源を入れる

電源スイッチの「I」（入れる）側を押してください。
スタンバイモードが設定されてPOWERインジケータが橙色に点灯します。



3

コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

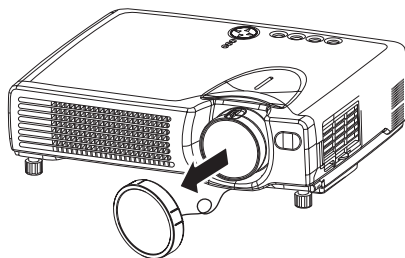
ウォームアップが開始されてPOWERインジケータは緑色に点滅します。
電源オンが完了するとPOWERインジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。



4

レンズキャップをはずす

投射されます。



入力信号を選択する

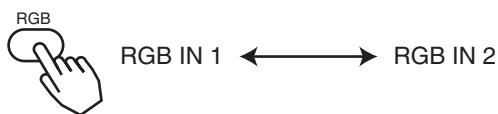
5

リモコンで操作する

RGB入力を選択する場合

RGBボタンを押す

RGB端子に接続された機器を選ぶときに押します。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



VIDEO入力を選択する場合

VIDEOボタンを押す

VIDEO端子に接続された機器を選ぶときに押します。ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



本体で操作する

INPUTボタンを押す

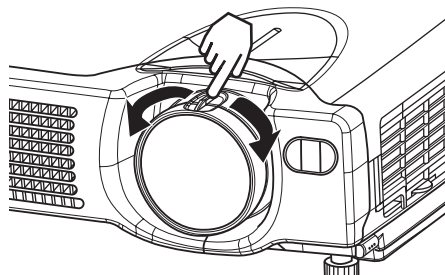
ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。投映したい信号が入力されている端子を選んでください。



基本的な使いかた

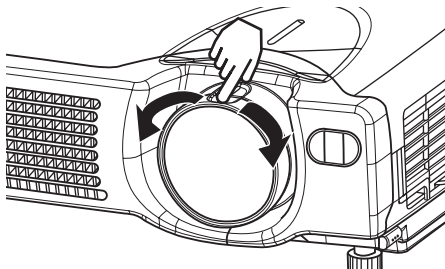
6

ズームつまみをまわして、画面サイズを調節する

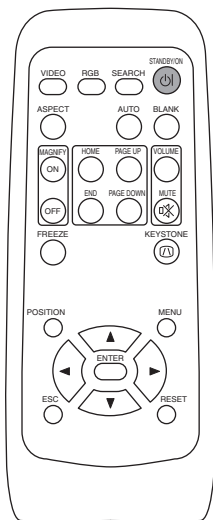


7

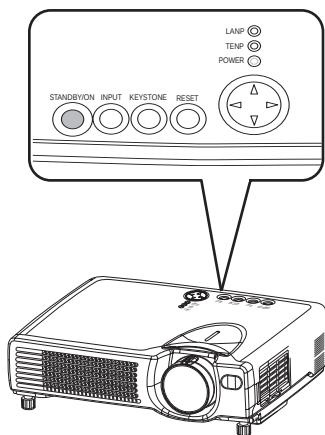
フォーカスつまみをまわして、フォーカスを調節する



電源の切りかた



コントロールパネル



お知らせ

非常時を除きPOWERインジケータが緑色や点滅中に電源スイッチを切らないでください。ランプの寿命を縮めることがあります。

1 コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

「電源を切りますか？」の確認メッセージが約5秒間表示されます。



2 もう一度コントロールパネルまたはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

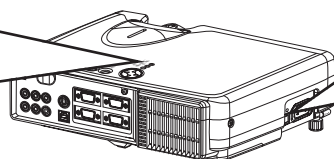
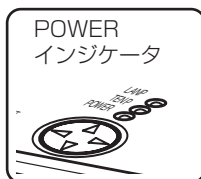
確認メッセージ「電源を切りますか？」の表示中にSTANDBY/ONボタンを押してください。

ランプが消え、ランプの冷却が開始されます。冷却中はPOWERインジケータが橙色に点滅し、この状態ではSTANDBY/ONボタンを押しても無効です。

ランプ冷却が完了するとスタンバイモードが設定され、POWERインジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。

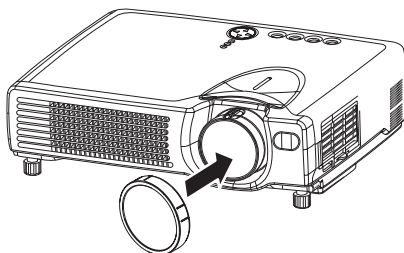


3 POWERインジケータが点滅をやめた（橙色点灯）ことを確認してから電源スイッチの「○」（切る）側を押す

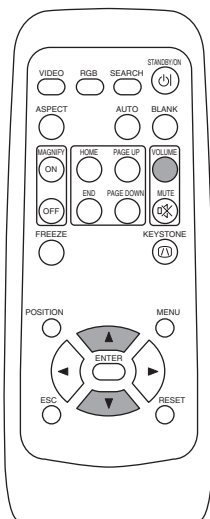


4 POWERインジケータが消えたことを確認してから、レンズキャップを取り付ける

電源オフが完了するとPOWERインジケータが消えます。



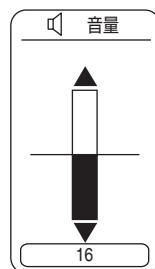
音量を調節する



1

VOLUMEボタンを押す

図のような表示が現われて、音量調節ができますようになります。



2

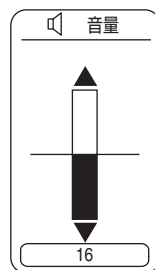
▲, ▼ ボタンで音量を調節する

図のような表示が現われて、音量調節ができますようになります。もう一度VOLUMEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で約5秒間経過する）と、表示が消えて音量調節が終了します。



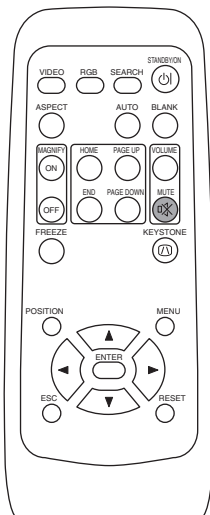
▲ 音量が大きくなる

▼ 音量が小さくなる



基本的な使いかた

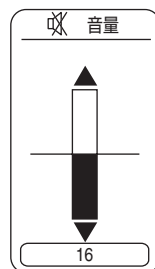
音声を一時的に消す



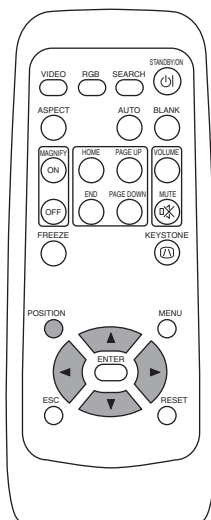
1

MUTEボタンを押す

音が消えます。図のような表示が現われますが、VOLUMEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で約5秒間経過する）と、表示が消えます。MUTEボタンをもう一度押すと音がでます。



画面位置を調節する



1

POSITIONボタンを押す

図のような表示が現われて、画面位置の調節ができるようになります。

POSITION

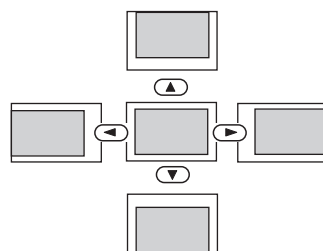
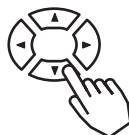


2

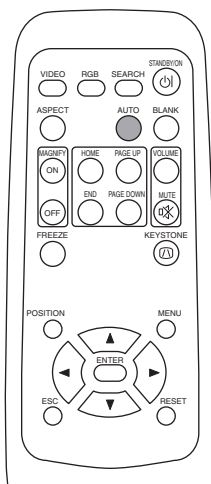
◀, ▶, ▲, ▼ ボタンで画面の位置を調節する

調節の途中で画面位置を初期状態(信号受信時の状態)に戻したい場合は、RESETボタンを押してください。

もう一度POSITIONボタンを押す(または何も操作を行わない状態で数秒間経過する)と、表示が消えて画面位置の調節が終了します。本機能はRGB IN1, RGB IN2, の入力でのみ有効です。



自動的に画面調節する



1

AUTOボタンを押す



RGB入力時の自動調節

「水平位置」「垂直位置」「クロック位相」「水平サイズ」が自動調整されます。

アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。また、暗い映像では正しく調節されない場合があります。明るい映像で実行してください。

VIDEO入力時の自動調節

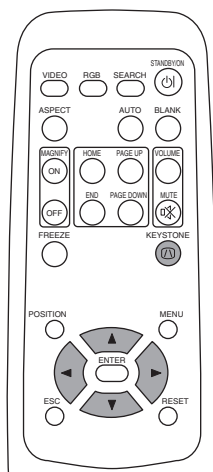
信号方式が自動選択されます。

入力メニューの「VIDEO」が「AUTO」に設定されているときのみ有効です。30

お知らせ

自動調整には10秒程度の時間がかかります。また、入力信号によっては正しく機能しない場合があります。

台形歪みを補正する



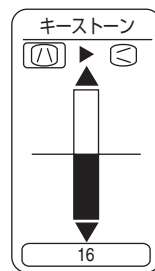
お知らせ

- 入力信号によっては、本機能を操作すると画像が正常表示されない場合があります。
- 歪み補正の可変範囲は、入力信号により異なります。

1

KEYSTONEボタンを押す

図のような表示が現われます。



2

◀, ▶ ボタンで補正する方向 (△/◁) を選択する



3

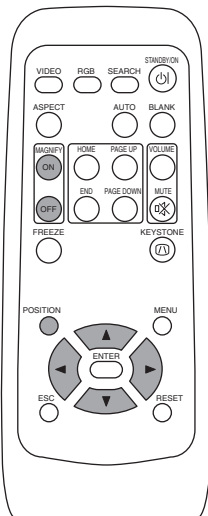
▲, ▼ ボタンで歪みを補正する

もう一度KEYSTONEボタンを押す（または何も操作を行わない状態で数秒経過する）と、表示が消えて台形歪みの補正を終了します。



基本的な使いかた

画面を拡大する



お知らせ

拡大モードでは「入力切り換え」「オートアジャスト」「アスペクト」「VIDEO」のいずれかの操作、または信号入力状態の変化によって自動的に解除されます。

1

MAGNIFY(ON)ボタンを押す

「拡大モード」が設定されます。



2

POSITIONボタンを押してから◀, ▶, ▲, ▼ ボタンで拡大領域を選び、もう一度POSITIONボタンを押して拡大領域を確定する



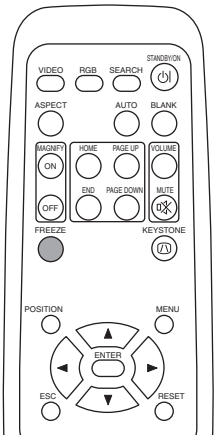
3

▲, ▼ ボタンを押して、拡大倍率を調節する

MAGNIFY(OFF)ボタンを押す（または信号入力状態が変化すると「拡大モード」が解除され、通常の表示にもどります。



映像を静止させる



7 FREEZEボタンを押す

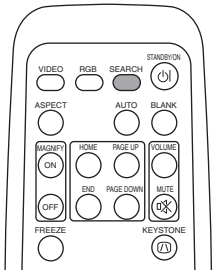
[II]アイコンが表示され、映像が静止します。
もう一度ボタンを押すと[▶]アイコンが表示され、
静止が解除されます。



お知らせ

- 「位置調節」「音量」「消音」「オートアジャスト」「ブランクオン／オフ」「メニューオン／オフ」のいずれかの操作、または信号入力状態の変化によって自動的に解除されます。
- 静止画を表示中に静止モードを設定した場合は解除を忘れないようにご注意ください。同一映像を長時間投映すると、その映像が残像として残ることがあります。

映像をサーチさせる



1 SEARCHボタンを押す

SEARCHボタンを押すと、入力されている信号を順次検索します。
信号を検出すると検索を終了し、検出した信号の映像を表示します。
信号が見つからない場合は、検索前の状態に戻ります。

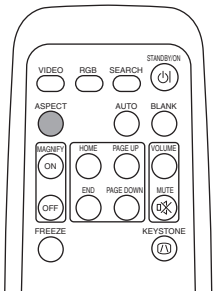


```

graph LR
    RGB_IN_1[RGB IN 1] --> RGB_IN_2[RGB IN 2]
    RGB_IN_2 --> VIDEO_IN[VIDEO IN]
    VIDEO_IN --> S_VIDEO_IN[S-VIDEO IN]
    S_VIDEO_IN --> COMPONENT_VIDEO[COMPONENT VIDEO]
    COMPONENT_VIDEO --> RGB_IN_1

```

画面の縦横比を選ぶ



1 ASPECTボタンを押す

RGB IN 1、RGB IN 2、
COMPONENT VIDEO (ハイビジョン信号：1125i(1035i/1080i), 750p)

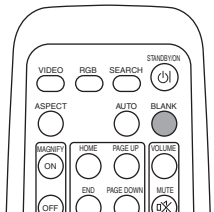
4:3 ↔ 16:9

**VIDEO IN、S-VIDEO IN、
COMPONENT VIDEO** (ハイビジョン信号以外：525i, 525p, 625i)

4:3 → 16:9 → SMALL



画面を一時的に消去する

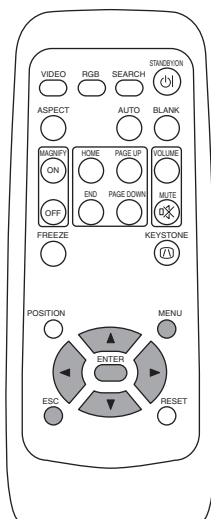


7 BLANKボタンを押す

受信信号の画面を消して「ブランク画面」を表示します。「ブランク画面」はメニュー操作(「スクリーン」メニューの「ブランク」)で設定することができます。もう一度BLANK ボタンを押すと「ブランク画面」が消え、受信信号の画面に戻ります。



メニュー機能の使いかた



1

MENUボタンを押す



画面上にメニュー表示が表れます。

本機では「メイン」、「映像1」、「映像2」、「入力」、「スクリーン」、「その他」のメニューが用意されています。▲, ▼ ボタンを使ってメニュー名を選ばと、そのメニューで操作できる項目の現在の設定状態が表示されます。

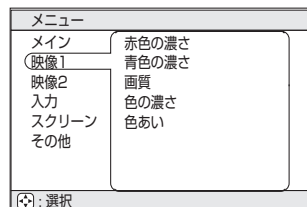
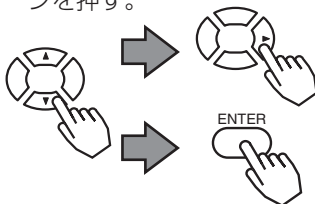
例：画質を調整したいとき

2

▲, ▼ ボタンでメニューを選び、▶ または ENTER ボタンを押す

●選んだメニューの表示が現れます。

▲, ▼ ボタンで「映像1」を選び、▶ ボタンまたはENTER ボタンを押す。

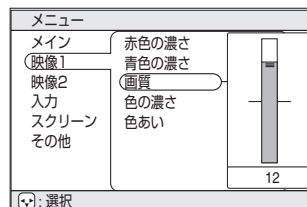
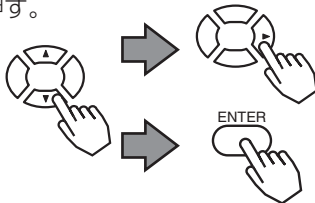


3

▲, ▼ ボタンで「画質」を選び、▶ または ENTER ボタンを押す

●選んだ項目の操作表示が現れます。数値調節を行う項目ではもう一度▶ ボタンまたはENTER ボタンを押すと単体メニュー(操作表示部分だけの小さな表示)に切り換えることもできます。

▲, ▼ ボタンで「画質」を選び、▶ またはENTER ボタンを押す。



4

▲, ▼ ボタンで調節する

●MENUボタンを押すと、メニューが消えて操作を終了します。また、▶ ボタンまたはESCボタンを押すと、一つ前の表示に戻ることができます。

▲, ▼ ボタンで「画質」を調節する。



基本的な使いかた

お知らせ

メニュー操作の詳細については本書の「多機能の設定」をご覧ください。23

各種機能の設定

本機は「メイン」「映像1」「映像2」「入力」「スクリーン」「その他」の6つのメニューを持っており、どのメニューも同様の方法で操作することができます。メニューの基本操作については以下の通りです。

メニュー画面表示 : MENUボタンを押す。

メニュー選択 : /ボタンでメニュー名を選び、ボタンまたはENTERボタンを押す。

項目選択 : /ボタンで項目を選び、ボタンまたはENTERボタンを押す。

メニュー表示を一つ前に戻す : ボタンまたはESCボタンを押す。

調節・設定の実施 : /ボタンで操作する。(詳細は各メニューの説明をお読みください。)

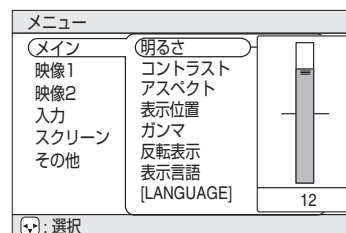
調節・設定の初期化 : 操作中にRESETボタンを押す。(クロック位相、言語選択、およびオートアジャストなど、操作と同時に機能が実行される項目は、初期化されません。)

メニュー操作終了 : MENUボタンを押すか、数秒間何も操作を行わない。

メインメニュー

メインメニューでは下表の7つの項目を操作することができます。

下表に従って操作してください。



例：メインメニュー
(明るさ)

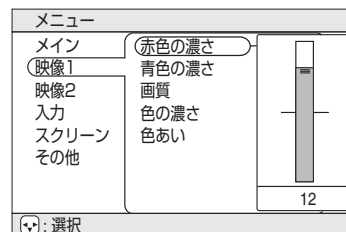
メインメニュー

設定項目	操作内容
明るさ	明るさの調節 : 明るく  ⇄  暗く
コントラスト	コントラストの調節 : 強く  ⇄  弱く
アスペクト	アスペクト (画面の縦横比) の選択 : RGBまたはCOMPONENT VIDEOハイビジョン1125i(1035i/1080i)/750p入力 のとき : 4:3  ⇄  16:9 VIDEO、S-VIDEOまたはCOMPONENT VIDEO 525i/525p/625i入力の場合 : 4:3  ⇄  16:9  ⇄  4:3小 ●入力信号によっては「4:3小」の画面が正しく表示されないことがあります。
表示位置	アスペクト「16:9」/「4:3小」表示位置の選択 : 上段  ⇄  中段  ⇄  下段
ガンマ	ガンマモードの選択 : ノーマル  ⇄  シネマ  ⇄  ダイナミック
反転表示	反転モードの選択 :  /  ボタンで選択する。 通常表示  ⇄  左右反転  ⇄  上下反転  ⇄  上下左右反転
表示言語 [Language]	メニュー表示言語の選択 : ENGLISH  ⇄  FRANÇAIS  ⇄  DEUTSCH  ⇄  ESPAÑOL  ⇄  ITALIANO  ⇄  NORSK  ⇄  NEDERLANDS  ⇄  日本語  ⇄  POTUGUÊS  ⇄  中文  ⇄  한글

映像1メニュー

映像1メニューでは下表の5つの項目を操作することができます。

下表に従って操作してください。



例：映像1メニュー
(赤色の濃さ)

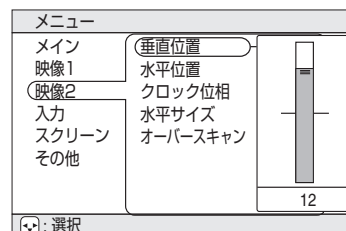
映像1メニュー

設定項目	操作内容
赤色の濃さ	赤色の濃さ調節：濃く ▲ ⇄ ▼ 淡く
青色の濃さ	青色の濃さ調節：濃く ▲ ⇄ ▼ 淡く
画質	画質の調節 (VIDEO/S-VIDEO入力)：くっきり ▲ ⇄ ▼ やわらかく
色の濃さ	色の濃さ調節 (VIDEO/S-VIDEO/COMPONENT VIDEO入力)：濃く ▲ ⇄ ▼ 淡く
色あい	色あいの調節 (VIDEO/S-VIDEO入力)：緑っぽく ▲ ⇄ ▼ 赤っぽく

映像2メニュー

映像2メニューでは下表の5つの項目を操作することができます。

下表に従って操作してください。



例：映像2メニュー
(垂直位置)

映像2メニュー

設定項目	操作内容
垂直位置	垂直位置の調節 (RGB入力)：上へ ▲ ⇄ ▼ 下へ
水平位置	水平位置の調節 (RGB入力)：左へ ▲ ⇄ ▼ 右へ
クロック位相	クロック位相の調節 (RGB/COMPONENT VIDEO入力)：右へ ▲ ⇄ ▼ 左へ ちらつきが無くなるように調節してください。
水平サイズ	水平サイズの調節 (RGB入力)：大きく ▲ ⇄ ▼ 小さく ●水平サイズを大きく調節しすぎると画像が正常に表示されなくなることがあります。 この場合は水平サイズ調節中にRESETボタンを押して初期化し、調節しなおしてください。
オーバースキャン	オーバースキャン率 (表示率) の選択 (VIDEO/S-VIDEO/COMPONENT VIDEO入力)： 大 ▼ ⇄ ▲ 中 ▼ ⇄ ▲ 小 「大」を選ぶと、画面の表示領域に現われる画像情報が増え、表示上の文字などは小さくなります。「小」を選ぶと、画面の表示領域に現われる画像情報が減り、表示上の文字などは大きくなります。 ●ビデオ再生時に画面下部のちらつきが気になる場合は「小」を選ぶことをおすすめします。

各種機能の設定

各種機能の設定（つづき）

入力メニュー

入力メニューでは下表の4つの項目を操作することができます。
RGB IN 1/2入力では、入力メニューの初期画面に信号の水平/垂直周波数が表示されます。
下表に従って操作してください。



例：入力メニュー
(オートアジャスト)

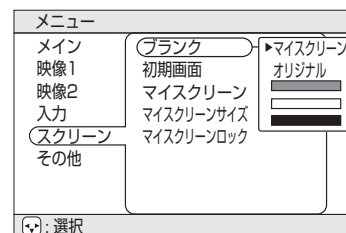
入力メニュー

設定項目	操作内容
オートアジャスト	画像の自動調整： RGB入力するとき： 入力信号に合わせて、垂直位置、水平位置、クロック位相、および水平サイズを自動的に調整します。アプリケーション表示のウィンドウを最大表示にして実行してください。 VIDEO/S-VIDEO入力するとき： 入力信号に合わせて、適切な信号モードを自動的に選択します。この機能は項目「VIDEO」（本表、下）で「AUTO」が選択されているときのみ有効です。 ●この機能は、PAL60など、信号入力によっては正しく機能しないことがあります。 ●この機能の実行には10秒程度の時間がかかります。 ●COMPONENT VIDEO入力については、この機能は無効ですが、信号は自動的に識別されます。HDTV信号については項目「HDTV」（本表、下）をご覧ください。
VIDEO	信号モードの選択 (VIDEO/S-VIDEO入力)： AUTO (▼) ⇄ (▲) NTSC (▼) ⇄ (▲) PAL (▼) ⇄ (▲) SECAM (▼) ⇄ (▲) NTSC4.43 (▼) ⇄ (▲) M-PAL (▼) ⇄ (▲) N-PAL この機能はVIDEO/S-VIDEO入力で画像が不安定場合、(画像が乱れる、色がつかない、など)にご使用ください。 「AUTO」を選択すると、項目「オートアジャスト」（本表、上）のVIDEO/S-VIDEO入力での機能が有効になり、同時に実行されて、上記のモードの中から適切な信号モードが自動選択されます。 ●この機能は、PAL60など、信号入力によっては正しく機能しない場合があります。 ●この機能の実行には10秒程度の時間がかかります。 ●COMPONENT VIDEO入力については、この機能は無効ですが、信号は自動的に識別されます。HDTV信号については項目「HDTV」（本表、下）をご覧ください。
HDTV	HDTV信号モードの選択： 1080i (▼) ⇄ (▲) 1035i ●入力信号に適切でないモードが選択されると、画像が正常に表示されない場合があります。
SYNC ON G	SYNC ON Gモードの有効化/無効化： 有効 (▼) ⇄ (▲) 無効 「有効」を選択するとSYNC ON Gモードが設定されて、シンクオングリーン信号の受信が可能になります。 ●SYNC ON Gモードでは、入力信号によっては画像が正常に表示されないことがあります。その場合は、信号ケーブルを抜いて無信号状態にして本項目「SYNC ON G」で「無効」を選択してください。再度信号ケーブルを接続し、信号を入力しなおしてください。

スクリーンメニュー

スクリーンメニューでは下表の5つの項目を操作することができます。

下表に従って操作してください。



例：スクリーンメニュー
(ブランク)

スクリーンメニュー

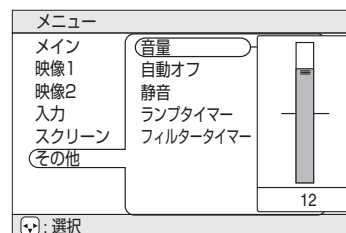
設定項目	操作内容
ブランク	ブランク画面の選択： マイスクリーン (▼) ⇄ (▲) オリジナル (▼) ⇄ (▲) [] (▼) ⇄ (▲) [] (▼) ⇄ (▲) [] 「ブランク画面」を選択することができます。「ブランク画面」はBLANKボタンによって画面が消去された（「画面を一時的に消去する」26）ときに表示されます。 マイスクリーン：項目「マイスクリーン」（本表、下）で好みの画面が登録できます。工場出荷時には青色の無地画面が設定されています。 オリジナル：既成の標準画面です。実際の画面でご確認ください。 その他：メニュー上に表示される各色の無地画面です。 ●「マイスクリーン」および「オリジナル」の画面は、表示から数分後に黒の無地画面に変わります。
初期画面	初期画面の選択： マイスクリーン (▼) ⇄ (▲) オリジナル (▼) ⇄ (▲) 表示しない 「初期画面」を選択することができます。「初期画面」は正常な信号入力が無い（信号が入力されていない、または仕様外の信号が入力されている）と表示されます。 マイスクリーン：項目「マイスクリーン」（本表、下）で好みの画面が登録できます。工場出荷時には青色の無地画面が設定されています。 オリジナル：既成の標準画面です。実際の画面でご確認ください。 表示しない：青色の無地画面です。 ●「マイスクリーン」および「オリジナル」の画面は、表示から数分後に黒の無地画面に変わります。
マイスクリーン	マイスクリーンの登録： この項目を実行すると、ブランク画面や初期画面のための「マイスクリーン」を登録するためのマイスクリーンメニューが表示されます。メニューに従って操作すると、表示中の受信映像からお好みの画面を切り取って登録することができます。 「画像の取り込みを開始しますか？」のメッセージが表示されます。ESC(またはRESET)ボタンを押すとマイスクリーンの実行を中止します。ENTERボタンを押すと画像が静止し、画面切り取り用の枠と、次のメッセージが現われます。登録したい画面を表示中にボタンを押してください。 「位置を設定して下さい。」のメッセージが表示されたら、ESC(またはRESET)ボタンを押すと、画像の静止が解除されて1の操作からやり直すことができます。 (◀, ▶, ▲, ▼) ボタンで枠を移動し、登録したい画面を指定してENTERボタンを押すと、画面の登録を開始します。登録には約1分程度かかります。 - 登録が完了すると、登録されたマイスクリーンの画面と「マイスクリーンの画像登録が完了しました。」のメッセージが数秒間表示されて、操作を終了します。
マイスクリーンサイズ	マイスクリーン表示サイズの選択： x1 (▼) ⇄ (▲) フル
マイスクリーンロック	マイスクリーン登録禁止機能の有効化/無効化： 有効 (▼) ⇄ (▲) 無効 「有効」を選択すると、項目「マイスクリーン」（本表、上）が実行できなくなり、マイスクリーン画面の書き換えを禁止することができます。

多機能の設定（つづき）

その他メニュー

その他メニューでは下表の5つの項目を操作することができます。

下表に従って操作してください。



例：その他メニュー
(音量)

その他メニュー

設定項目	操作内容
音量	音量の調節 大きく(▲) ⇄ (▼) 小さく
自動オフ	自動オフ時間の設定： 長く (最長 99分) (▼) ⇄ (▲) 短く (最短 1分) (▼) ⇄ (▲) (無効: 0分) 正常な信号入力が無い（信号が入力されていない、または仕様外の信号が入力されている）状態がこの項目で設定した時間だけ継続すると、スタンバイモード（「電源の入れかた」20）になります。 「無効（0min）」を選択するとこの機能は無効になります。
静音	静音モードの有効化/無効化： 標準モード (▼) ⇄ (▲) 静音モード 「静音モード」を選択すると、プロジェクターが動作中に発する騒音を低減することができます。画像の明るさもやや抑えられます。
ランプタイマー	ランプタイマーの参照： この項目を選ぶと、現在使用しているランプの使用時間（前回ランプタイマーが初期化されてから現在までの時間）を参照することができます。 ランプタイマーの初期化 [ランプ交換時のみ実施のこと]： ランプタイマーの参照中にRESETボタンを3秒以上押しつづけると、ランプタイマー初期化用のメニューが表示されます。ランプを交換した場合にのみ、「初期化する」を選択してください。ランプタイマーが初期化されます。 初期化する⇄ (▲) 初期化しない ●ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。また、ランプを交換した場合には必ずランプタイマーを初期化してください。タイマーが正しく初期化されないと、交換メッセージなどの機能が正しく動きませんのでご注意ください。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプについて」33 をお読みください。
フィルタータイマー	フィルタータイマーの参照： この項目を選ぶと、現在使用しているエアーフィルターの使用時間（前回フィルタータイマーが初期化されてから現在までの時間）を参照することができます。 フィルタータイマーの初期化 [フィルター掃除/交換時のみ実施のこと]： フィルタータイマーの参照中にRESETボタンを3秒以上押しつづけると、フィルタータイマー初期化用のメニューが表示されます。エアーフィルターを掃除または交換した場合にのみ、「初期化する」を選択してください。フィルタータイマーが初期化されます。 初期化する⇄ (▲) 初期化しない ●エアーフィルターを掃除または交換せずにフィルタータイマーを初期化しないでください。また、エアーフィルターを掃除または交換した場合には必ずフィルタータイマーを初期化してください。タイマーが正しく初期化されないと、メッセージなどの機能が正しく動きませんのでご注意ください。 ●エアーフィルター掃除の際は必ず「エアーフィルターについて」35 をお読みください。

ランプについて



感電注意
高温注意
破裂注意

ランプ交換の際は、別売の交換用ランプの型名（**54**の「別売品」ご参照）をご確認のうえ、必ず販売店にご連絡ください。

ランプ交換のまえには、必ず電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取り扱いは火傷や破裂の原因となります。

△警告 本液晶プロジェクターに使用のランプはガラス製で、内部圧力の高い水銀ランプです。高圧水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。ランプはそれぞれのランプによって寿命に大きな差があり、使用後もなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクターの通風孔から出たりすることがあります。

- ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。
- ランプは長時間ご使用になったり、交換時期を越えてご使用になると、破裂する可能性が高くなります。ランプ交換の指示（**49**、**50**）が出た場合はこれに従って、お早めにランプ交換を行ってください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。
- ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電氣的障害をとまなっている場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。
- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は換気を十分にして、プロジェクターの通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようにご注意ください。
- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によってプロジェクター内部を傷つけたり、取り扱い時にけがの原因となることがありますので、お客様による清掃やランプ交換はおやめください。
- 使用済みランプの廃棄については、廃棄を行う地域の条例や規則に従ってください。一般的にはガラスやビンと同類として扱われる場合が多いですが、ランプなどを分別収集の対象にしているところもありますのでご注意ください。
- ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプについて (つづき)

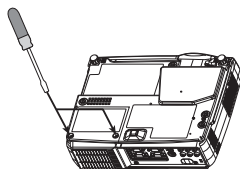
ランプの交換について

プロジェクターのランプには寿命があり、長時間使用すると映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。お早めの交換をお勧めします。LAMPインジケータが赤色に点灯したり、電源オン時に「ランプを交換して下さい。」などのメッセージが表示された場合は交換が必要です。（「メッセージについて」 49 または「インジケータランプについて」 50 ご参照）

1 プロジェクターの電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上おいて冷まし、新しいランプ（指定のもの）を準備する

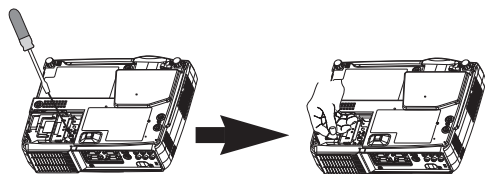
2 プロジェクターが十分冷めたのを確認し、底面が上になるように静かに裏返して置く

3 2本のネジをゆるめ、ランプカバーを外す



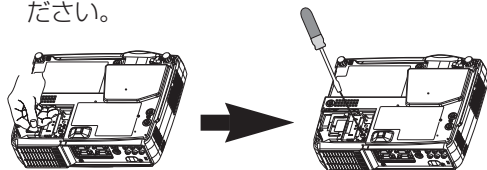
4 1本のネジをゆるめて取っ手部分を持って静かにランプを取り外す

●ランプケースの内部には触れないようにご注意ください。

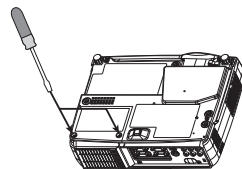


5 新しいランプを取り付け、1本のネジをしっかりと止めて固定する

●ネジの反対側もしっかりと押さえ込んでください。



6 ランプカバーをもとのように取り付け、2本のネジをしっかりと止めて固定する



7 プロジェクターの上面が上になるように、静かに置く

8 プロジェクターの電源を入れ、メニュー操作でランプタイマーを初期化する

●ランプタイマーの初期化は、その他メニューの「ランプタイマー」の項に従って行ってください。

お守りください

- ネジ止めはしっかりと確実に行ってください。不完全なネジ止めはけがや故障の原因となることがあります。
- ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。
- 「10時間後に電源を切ります。」のようなメッセージが表示された後に交換を行った場合は、電源オンから10分以内に以下の作業を完了してください。10分を超えると電源が自動的にオフになります。
- ランプを交換せずにランプタイマーを初期化しないでください。また、ランプ交換時には必ず初期化してください。ランプタイマーが正しく初期化されないとメッセージなどの機能が正しく動きませんのでご注意ください。

お知らせ

LAMPインジケータは、ランプ部が高温になった場合にも赤色に点灯します。ランプ交換するまえに、電源をオフして20分程度おき、再び電源をオンしてください。再びLAMPインジケータが赤色に点灯した場合はランプ交換が必要です。

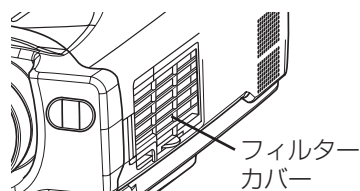
エアフィルターについて

エアフィルターのお手入れ

エアフィルターは、約100時間を目安に掃除を行ってください。LAMPインジケータとTEMPインジケータが同時に赤色点滅したり、電源オン時に「エアフィルターを掃除して下さい。」などのメッセージが表示された場合は掃除が必要です。（「メッセージについて」[49](#) または「インジケータランプについて」[50](#) ご参照）

1 プロジェクターの電源をオフにして電源コードを抜く

2 フィルターカバーの上からエアフィルター部分を掃除機で掃除する



3 プロジェクターの電源を入れ、メニュー操作でフィルタータイマーを初期化する

- フィルタータイマーの初期化は、その他メニューの「フィルタータイマー」の項に従って行ってください。

エアフィルターについて (つづき)

エアフィルターの交換

エアフィルターの汚れが落ちなくなったり破損した場合は交換が必要です。別売の交換用エアフィルターの型名(「別売品」 54 参照)をご確認のうえ販売店にご連絡ください。

- 1 プロジェクターの電源をオフにして電源コードを抜き、新しいエアフィルター(指定のもの)を準備する
- 2 フィルターカバーとエアフィルターを取り外す
- 3 新しいフィルターを入れ、フィルターカバーを取り付ける
- 4 プロジェクターの電源を入れ、メニュー操作でフィルタータイマーを初期化する
 - フィルタータイマーの初期化は、その他メニューの「フィルタータイマー」の項に従って行ってください。

お守りください

- お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
- エアフィルターを外した状態で本機をご使用にならないでください。
- ほこりなどによりエアフィルターがつまりますと、プロジェクター内部の温度が上昇して故障の原因となることがあります。内部の温度上昇を防ぐために自動的に電源がオフになることがあります。

その他のお手入れについて

内部のお手入れ：

安全なご使用のため、2年に1度を目安に、販売店へ清掃・点検をご依頼ください。ご自分での内部のお手入れは危険ですから絶対におやめください。

レンズのお手入れ：

市販のレンズクリーニングペーパーで軽く拭いてください。レンズには直接手を触れないでください。

キャビネット、リモコン送信機のお手入れ：

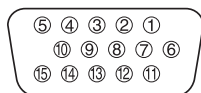
ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭いてください。さらに、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。

お守りください

- お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
- ベンジンやシンナーなど上記以外の洗剤や薬品はご使用にならないでください。
- スプレーはご使用にならないでください。
- 硬いもので擦ったり、叩いたりしないでください。

信号入/出力端子ピン配置

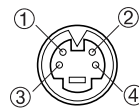
RGB IN [1]/[2]
RGB OUT



Dサブ15ピン・シュリンク端子(メス)

ピン No.	信号
1	映像入力 (赤)
2	映像入力 (緑)
3	映像入力 (青)
4	—
5	接地
6	接地 (赤)
7	接地 (緑)
8	接地 (青)
9	—
10	接地
11	—
12	RGB IN [1] : SDA(DDC)
13	RGB IN [2] : —
14	RGB OUT : —
15	水平同期 / 複合同期
16	垂直同期
17	RGB IN [1] : SCL(DDC)
18	RGB IN [2] : —
19	RGB OUT : —

S-VIDEO



ミニDIN4ピン端子

ピン No.	信号
1	色信号 NTSC,バースト : 0.286V(p-p), 75Ω終端 PAL/SECAM,バースト : 0.3V(p-p), 75Ω終端
2	輝度信号
3	接地
4	接地

信号	端子	仕様
RGB 信号入力	RGB IN (1、2)	映像信号 : アナログ0.7V(p-p), 75Ω終端 (正極性) 水平/垂直同期信号 : TTLレベル (正極性/負極性) 複合同期信号 : TTLレベル Dサブ15ピン・シュリンク・ジャック(メス)
ビデオ 信号入力	VIDEO IN	1.0V(p-p), 75Ω終端, RCAジャック
	S-VIDEO IN	輝度信号 : 1.0V(p-p), 75Ω終端 色信号 (NTSC,バースト) : 0.286V(p-p), 75Ω終端 (PAL/SECAM, バースト) : 0.300V(p-p), 75Ω終端 ミニDIN4ピン・ジャック
	COMPONENT VIDEO	Y 1.0V(p-p), 75Ω (正極性), RCAジャック
		Cb/Pb 0.7V(p-p), 75Ω (正極性), RCAジャック
		Cr/Pr 0.7V(p-p), 75Ω (正極性), RCAジャック
音声入力	AUDIO IN (R、L)	200mV(rms), 50kΩ (最大3.0V(p-p)), RCAジャック
信号出力	RGB OUT	映像信号 : アナログ0.7V(p-p), 出力インピーダンス75Ω (正極性) 水平/垂直同期信号 : TTLレベル (正極性/負極性) 複合同期信号 : TTLレベル Dサブ15ピン・シュリンク・ジャック (メス)

コンピュータ信号について

解像度 H×V	fH (kHz)	fV (Hz)	規格	信号モード	表示モード
720×400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)	拡大
640×480	35.0	66.7		Mac 13" mode	拡大
640×480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)	拡大
640×480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)	拡大
640×480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)	拡大
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)	拡大
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)	拡大
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)	拡大
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)	拡大
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)	拡大
832×624	49.7	74.5		Mac 16" mode	拡大
1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)	
1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)	
1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)	
1024×768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)	
1152×864	67.5	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小
1280×960	60.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小
1280×1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小

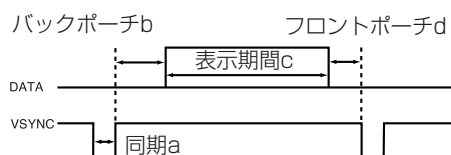
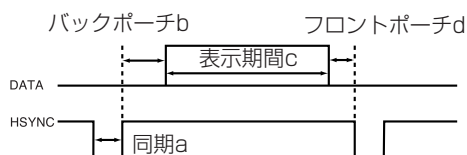
お知らせ

- コンピュータによっては複数の表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合もあります。
- 本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。
- コンポジット、シンクオングリーンなどの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

コンピュータ信号について (つづき)

初期設定信号について

本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じてメニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



パソコン/ 信号源	水平信号タイミング (μs)			
	a	b	c	d
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA (72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152x864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280x960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
1280x1024 (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4

パソコン/ 信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	a	b	c	d
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
Mac 13"mode	3	39	480	3
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16"mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152x864 (75Hz)	3	32	864	1
1280x960 (60Hz)	3	36	960	1
1280x1024 (60Hz)	3	38	1024	1

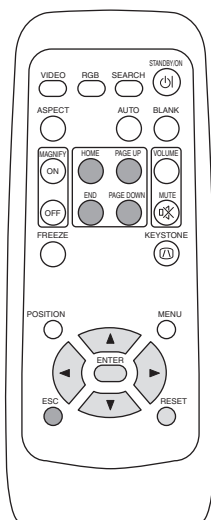
パーソナルコンピュータの画面を操作する

リモコンを簡易的なマウスとして使ったり、キーボードの一部として使うことができます。

⚠ 注意

マウス／キーボード・コントロールについてのご注意： 誤った取り扱いは機器故障の原因となることがあります。

- パーソナルコンピュータ以外には接続しないでください。
- 接続まえには必ず接続する機器の説明書をお読みください。
- コンピュータの動作中には接続ケーブルを抜き差ししないでください。



PS/2、ADB、シリアル・マウスコントロール

1. プロジェクターおよびパソコンの電源を切り、プロジェクターのCONTROL端子をマウスケーブルでコンピュータに接続してください。
2. USBケーブルが接続されている場合は外してください。USBケーブルが接続されているとUSBコントロール機能が優先されてCONTROL端子からのマウスコントロールが機能しません。
3. 先にプロジェクター、後にコンピュータの順で電源をオンにしてください。下表のコントロールができます。うまく機能しない場合はコンピュータを再起動（ソフトリセットまたはリセットスイッチを操作）してください。

できること	リモコンの操作
カーソル移動	◀ ▶ ▲ ▼ ボタンで移動する
マウスの左ボタンのクリック	ENTERボタンを押す
マウスの右ボタンのクリック	RESETボタンを押す

USBマウス／キーボード・コントロール

1. プロジェクターのUSB端子を、USBケーブルでコンピュータに接続してください。下表のコントロールができます。

できること	リモコンの操作
カーソル移動	◀ ▶ ▲ ▼ ボタンで移動する
マウスの左ボタンのクリック	ENTERボタンを押す
マウスの右ボタンのクリック	RESETボタンを押す
キーボードのHOMEキー押下	HOMEボタンを押す
キーボードのENDキー押下	ENDボタンを押す
キーボードのPAGE UPキー押下	PAGE UPボタンを押す
キーボードのPAGE DOWNキー押下	PAGE DOWNボタンを押す
キーボードのESCキー押下	ESCボタンを押す

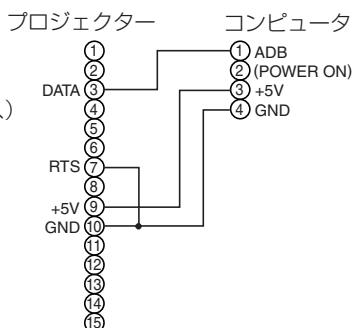
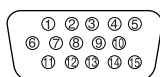
お知らせ

- ノートタイプ・コンピュータなどでポインティングデバイス（トラックボールなど）が内蔵されていると、本機のコントロールが実行できないことがあります。この場合は接続まえにコンピュータのBIOS設定（システムセットアップ）で外部マウスを選択し、ポインティングデバイスを無効にしてください。またコンピュータによってはユーティリティプログラムが無いとマウスが動かないものがあります。詳細はコンピュータのハードウェアの説明書をご覧ください。
- 本機のUSBコントロールはWindows95バージョンOSR2.1以上でご使用になれます。コンピュータの設定やマウスドライバによってはご使用にならない場合があります。
- 本機のUSBコントロールは上記の機能のみ有効です。ボタンの同時押し操作（例：▶ ボタンと ▲ ボタンの同時押しで右斜め上へのカーソルを移動する）などは実行できません。
- ランプのウォームアップ（POWERインジケータが緑色に点滅）中、音量の調節や表示位置の調節、台形歪みの補正、画面の拡大、またはブランク機能を実行しているとき、およびメニュー画面を表示しているときには、本機能は無効です。

パーソナルコンピュータの画面を操作する (つづき)

ADBマウス

コントロール端子
Dサブ15ピンシュリンク (オス)

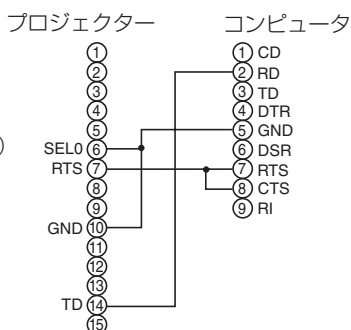
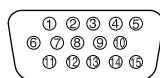


マウスジャック
Mini DIN 4-ピン



Serialマウス

コントロール端子
Dサブ15ピンシュリンク (オス)

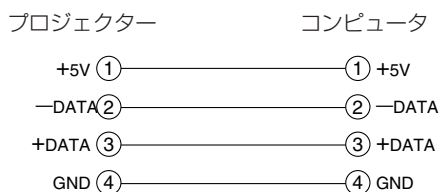
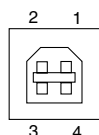


マウスジャック
D-sub 9-ピン



USBマウス

USBジャック
(B type)



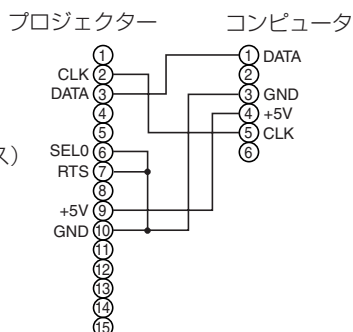
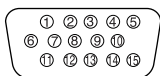
USBジャック
(A type)



USBケーブル

PS/2マウス

コントロール端子
Dサブ15ピンシュリンク (オス)



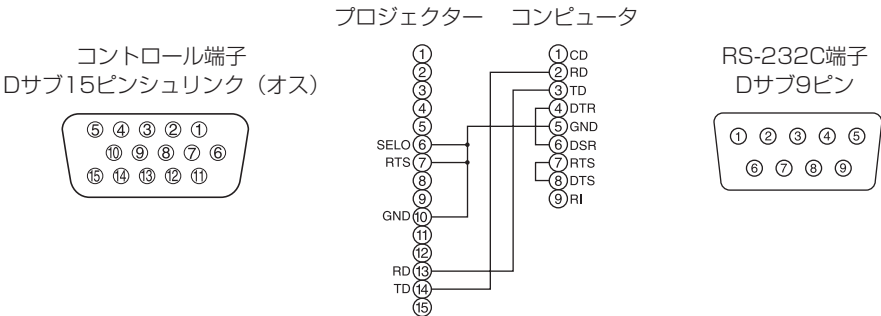
マウスジャック
Mini DIN 6-ピン



RS-232C通信について

RS-232C通信

- (1) 本機およびコンピュータの電源を切り、RS-232Cケーブルで接続してください。
(2) コンピュータの電源を入れ、コンピュータが立ち上がったあとに本機の電源を入れてください。



通信設定：19200bps, 8N1

プロトコル構成：ヘッダ（7バイト）+コマンドデータ（6バイト）

ヘッダ：BE + EF + 03 + 06 + 00 + CRC_low + CRC_hige
CRC_low：コマンドデータ6バイトに対するCRCフラグ下位1バイト
CRC_high：コマンドデータ6バイトに対するCRCフラグ上位1バイト

コマンドデータ：

コマンドデータの構成

byte_0	byte_1	byte_2	byte_3	byte_4	byte_5
Action		Type		Setting code	
low	high	low	high	low	high

Action (byte_0 - 1)

Actionの値	分 類	内 容
1	SET	設定を任意の値に変更します。
2	GET	プロジェクトー内部の設定値を読み出します。
4	INCREMENT	設定値を1つ増やします。
5	DECREMENT	設定値を1つ減らします。
6	EXECUTE	コマンドを実行します。

RS-232C通信について(つづき)

プロジェクターの状態を問い合わせる場合 (Get command)

- (1) コンピュータから質問コードヘッダ+コマンドデータ ('02H'+ '00H'+ type (2 bytes) + '00H'+ '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは回答コード '1DH'+data (2 byte)をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定を変更する場合 (Set command)

- (1) コンピュータから質問コードヘッダ+コマンドデータ ('01H'+ '00H'+ type (2 bytes)+セッティング コード(2 bytes)) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定をデフォルトにする場合 (Reset Command)

- (1) コンピュータからデフォルト設定コードヘッダ+コマンドデータ ('06H'+ '00H'+ type (2 bytes) + '00H'+ '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは指定された設定コードをデフォルトに変えます。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を増やす場合 (Increment command)

- (1) コンピュータから増加設定コードヘッダ+コマンドデータ ('04H'+ '00H'+ type (2 bytes) + '00H'+ '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を増加します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を減らす場合 (Decrement command)

- (1) コンピュータから減少設定コードヘッダ+コマンドデータ ('05H'+ '00H'+ type (2 bytes) + '00H' + '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を減少します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターが送信されたコマンドを理解できない場合

プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、エラーコード '15H'をプロジェクターに送ります。いくつかのプロジェクトは他の仕事を催促しているRS-232C命令を無視します。
もし、エラーメッセージ '15H' が返される場合は、再度同じコードを送ってください。

プロジェクターが送信されたデータを実行できない場合

プロジェクターが送られたコマンドを実行できない場合は、エラーコードの '1cH'+ 'xxxxH'を返します。
なお、必要なデータ符号長より長い場合、プロジェクターは余分なデータ符号を無視します。逆に、必要なデータ符号長より短い場合、プロジェクターは本エラーコードを返します。

お知らせ

- プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 回答コードと他のコードの間隔は40ms以上あけてください。
- セットの電源投入時およびランプ点灯後にプロジェクターからテスト用のデータが出力されますが無視してください。
- ウォームアップ中はコマンドを受信できません。

RS-232Cコマンド一覧

(この表のコマンドの送信データはHEXコードです。)

Names	Operation type		Header			Command data			
						CRC	Action	Type	Setting code
Blank Color	Set	Blue	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		White	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		Black	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
		MyScreen	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00
		ORIGNAL	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
Mirror	Set	Normal	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		H Inverse	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		V Inverse	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		H&V Inverse	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
Freeze	Set	Normal	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		Freeze	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
Startup	Set	ORIGNAL	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		OFF	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
		MyScreen	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00
Language	Set	English	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		Français	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		Deutsch	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		Español	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		Italiano	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		Norsk	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		Nederlands	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		Português	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00
Magnify	Get		BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
Auto off	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
Brightness Reset	Execute		BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00
Contrast Reset	Execute		BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00
V.Position Reset	Execute		BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00

RS-232C通信について(つづき)

RS-232Cコマンド一覧 (つづき)

Names	Operation type		Header			Command data			
						CRC	Action	Type	Setting code
H.Position Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	IC D3	06 00	03 70	00 00
H.Size Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
Color Balance R Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	94 D3	06 00	05 70	00 00
Color Balance B Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	D0 D3	06 00	06 70	00 00
Sharpness Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
Color Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
Tint Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
Keystone_V Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
Keystone_H Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00
Auto	Execute		BE	EF	03 06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
Lamp Time Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00
Filter Time Reset	Execute		BE	EF	03 06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00
Blank on/off	Set	off	BE	EF	03 06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
		on	BE	EF	03 06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get		BE	EF	03 06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
Error Status	Get		BE	EF	03 06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
			(Example of Return) 00 00 01 00 02 00 03 00 (Normal) (Cover-error) (Fan-error) (Lamp-error) 04 00 05 00 06 00 07 00 0800 (Temp-error) (Air flow-error) (Lamp-Time-over) (Cool-error) (Filter-Error)						
Power	Set	OFF	BE	EF	03 06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		ON	BE	EF	03 06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get		BE	EF	03 06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
Input Source	Set	RGB1	BE	EF	03 06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		RGB2	BE	EF	03 06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		Video	BE	EF	03 06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		SVideo	BE	EF	03 06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		Component	BE	EF	03 06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
	Get		BE	EF	03 06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00
Volume	Get		BE	EF	03 06 00	31 D3	02 00	01 20	00 00
	Increment		BE	EF	03 06 00	57 D3	04 00	01 20	00 00
	Decrement		BE	EF	03 06 00	86 D2	05 00	01 20	00 00
Mute	Set	Normal	BE	EF	03 06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		Mute	BE	EF	03 06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get		BE	EF	03 06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00
Brightness	Get		BE	EF	03 06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00
	Increment		BE	EF	03 06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00
	Decrement		BE	EF	03 06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00
Contrast	Get		BE	EF	03 06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00
	Increment		BE	EF	03 06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00
	Decrement		BE	EF	03 06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00
Color Balance R	Get		BE	EF	03 06 00	01 D2	02 00	05 20	00 00
	Increment		BE	EF	03 06 00	67 D2	04 00	05 20	00 00
	Decrement		BE	EF	03 06 00	B6 D3	05 00	05 20	00 00

Names	Operation type		Header				Command data		
						CRC	Action	Type	Setting code
Color Balance B	Get		BE EF	03	06 00	45 D2	02 00	06 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	23 D2	04 00	06 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 D3	05 00	06 20	00 00
Keystone_V	Get		BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
Keystone_H	Get		BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00
Aspect	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		Small	BE EF	03	06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00
Picture Position at 16 : 9 or Small	Set	Default	BE EF	03	06 00	62 D1	01 00	09 20	00 00
		Bottom	BE EF	03	06 00	F2 D0	01 00	09 20	01 00
		Top	BE EF	03	06 00	02 D0	01 00	09 20	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	51 D1	02 00	09 20	00 00
V.Position	Get		BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
H.Position	Get		BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
H.Size	Get		BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
H.Phase	Get		BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00
Sharpness	Get		BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
Color	Get		BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
Tint	Get		BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
	Increment		BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
	Decrement		BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
Video Format	Set	Auto	BE EF	03	06 00	9E 75	01 00	00 22	0A 00
		NTSC	BE EF	03	06 00	FE 71	01 00	00 22	04 00
		PAL	BE EF	03	06 00	6E 70	01 00	00 22	05 00
		SECAM	BE EF	03	06 00	6E 75	01 00	00 22	09 00
		NTSC 4.43	BE EF	03	06 00	5E 72	01 00	00 22	02 00
		M-PAL	BE EF	03	06 00	FE 74	01 00	00 22	08 00
		N-PAL	BE EF	03	06 00	0E 71	01 00	00 22	07 00
	Get		BE EF	03	06 00	0D 73	02 00	00 22	00 00
HDTV	Set	1080i	BE EF	03	06 00	F2 73	01 00	05 22	00 00
		1035i	BE EF	03	06 00	62 72	01 00	05 22	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	C1 73	02 00	05 22	00 00

RS-232C通信について(つづき)

RS-232Cコマンド一覧 (つづき)

Names	Operation type		Header			Command data			
						CRC	Action	Type	Setting code
Sync on G	Set	off	BE EF	03	06 00	CB D0	01 00	08 30	01 00
		on	BE EF	03	06 00	5B D1	01 00	08 30	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	68 D1	02 00	08 30	00 00
WHISPER	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		WHISPER	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
GAMMA	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 F0	01 00	A1 30	00 00
		CINEMA	BE EF	03	06 00	57 F1	01 00	A1 30	01 00
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	A7 F1	01 00	A1 30	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00
Over Scan	Set	Large	BE EF	03	06 00	C2 71	01 00	09 22	02 00
		Middle	BE EF	03	06 00	32 71	01 00	09 22	01 00
		Small	BE EF	03	06 00	A2 70	01 00	09 22	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00
MyScreen Size	Set	Full	BE EF	03	06 00	43 D6	01 00	12 30	00 00
		X1	BE EF	03	06 00	D3 D7	01 00	12 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	70 D6	02 00	12 30	03 00
MyScreen Lock	Set	off	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00
		on	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00
Lamp Time	Get		BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00
Filter Time	Get		BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00

故障かな?と思ったら

メッセージについて

本機では電源オン時、下表のようなメッセージを表示することがあります。画面上にメッセージが現れたら、下表に従って対処してください。

メッセージ	内 容
ランプを交換して下さい。 ランプを交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 (※1)	ランプ使用時間が2000時間に近づいています。(※2) 新しいランプの準備と早めの交換をお勧めします。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ** 時間後に電源を切ります。 (※1)	ランプ使用時間が2000時間に近づいています。あと** 時間以内にランプを交換することをお勧めします。(※2) ランプが2000時間に達すると、自動的に電源がオフされます。「ランプについて」 33 に従ってランプを交換してください。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 0時間後に電源を切ります。	ランプの使用時間が2000時間に達しましたので、まもなく電源が自動オフされます。(※2) すぐに電源をオフにし、「ランプについて」 33 に従ってランプを交換してください。 ランプ交換後は必ず「その他メニュー」の「ランプタイマー」を初期化してください。
エアーフィルターを掃除してください。 エアーフィルター掃除後、 フィルタータイマーをリセットして下さい。	エアーフィルターの掃除時期のお知らせです。「エアーフィルターについて」 35 をご覧ください。 掃除後に「その他メニュー」の「フィルタータイマー」の項を操作して、フィルタータイマーを初期化してください。
** に信号が入力されていません	入力信号がみつかりません。 信号入力の接続や信号源の状態をご確認ください。
** の信号は同期範囲外です	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。 本機および信号源の仕様をご確認ください。
吸気口をチェックしてください	内部の温度が上昇しています。電源をオフにし、20分程度おいて本機を冷ましてください。以下のことをご確認の上、再度電源をオンにしてください。 ・通風口が塞がっていないか? ・エアーフィルターは汚れていないか? ・周囲温度が35℃を超えていないか?

お知らせ

- (※1) このメッセージは約3分で自動消去しますが、電源オンごとに再現します。
- (※2) ランプには寿命があり、使用時間が長時間になるとランプが不点灯となったり、破裂したりする特性があります。本機は、ランプの使用時間が2000時間に達すると自動的に電源をオフするシャットダウン機能を備えております。但し、ランプの寿命はランプによって大きな差があるため、シャットダウン機能が働く前に不点灯となる場合もあります。

故障かな?と思ったら (つづき)

インジケータランプについて

POWERインジケータ、LAMPインジケータ、TEMPインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。下表に従って対処してください。

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
橙色の 点 灯	消 灯	消 灯	スタンバイモードが設定されています。
緑色の 点 滅	消 灯	消 灯	ウォームアップ中です。お待ちください。
緑色の 点 灯	消 灯	消 灯	オン状態です。通常操作可能です。
橙色の 点 滅	消 灯	消 灯	冷却中です。お待ちください。
赤色の 点 滅	—	—	冷却中です。お待ちください。 なにか不具合が見つかりました。POWERインジケータの点滅が終わるのを待って以下の欄をご参照の上、適切な処置を行ってください。
赤色の 点 灯 または 点 滅	赤色の 点 灯	消 灯	ランプが点灯しません。 内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから通風孔が塞がっていないか、エアーフィルターは汚れていないか、周囲温度が35℃を超えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして、再び同じ表示になる場合は、ランプを交換してください。
赤色の 点 灯 または 点 滅	赤色の 点 滅	消 灯	ランプまたはランプカバーが無い、取り付けが不完全です。電源を切って45分以上おき、本機を十分冷ましてから、ランプおよびランプカバーの取り付け状態を確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
赤色の 点 灯 または 点 滅	消 灯	赤色の 点 滅	冷却ファンが動作しません。 電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから、ファンに異物が挟まっていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
赤色の 点 灯 または 点 滅	消 灯	赤色の 点 灯	内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから通風孔が塞がっていないか、エアーフィルターは汚れていないか、周囲温度が35℃を超えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
緑色の 点 灯	赤色の 点 滅 ⇔ 赤色の 点 滅 (交互)		内部が冷え過ぎている可能性があります。使用温度範囲 (0℃～35℃) でご使用ください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店にご連絡ください。
緑色の 点 灯	赤色の 点 滅 ⇔ 赤色の 点 滅 (同期)		エアーフィルターの掃除時期のお知らせです。 掃除後に「その他メニュー」の「フィルタータイマー」の項を操作して、フィルタータイマーを初期化してください。

お知らせ

内部の温度が上がり過ぎると、安全のため電源が自動的にオフになり、インジケータが消灯することがあります。電源スイッチの「○」側を押して20分程度おき、本機を十分冷ましてからご使用ください。

故障と間違えやすい現象について

下表のような現象は故障ではない場合があります。修理をご依頼するまえに、下表に従ってもう一度ご確認ください。

現象	故障でない事例	確認内容	ページ
電源が入らない	主電源が入っていない。	主電源を入れてください。	11,20
	電源コードが抜けている。	電源コードを正しく接続してください。	
	停電などで、動作中に主電源が切断された。	必ず主電源スイッチの「○」（切る）側を押して20分程度おき、本機が十分冷めてから、電源を入れてください。	20
映像も音声も出ない	入力切り換えの設定が異なっている。	入力信号を選択し直してください。	21
	信号が入力されていない。	接続線を正しく接続してください。	17,18
映像は出るが音声が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	17,18
	音量が極端に小さく調節されている。	「音量」を大きく調節してください。	23
	消音モードが設定されている。	MUTEボタンを押して消音モードを解除してください。	23
音声は出るが映像が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	17,18
	明るさが極端に暗く調節されている。	「明るさ」を明るく調節してください。	28
	レンズキャップを取り付けたままになっている。	レンズキャップを外してください。	20
色がうすい 色あいが悪い	色の濃さ、色あいが正しく調節されていない。	「赤色の濃さ」「青色の濃さ」「色あい」など、映像の調節を行ってください。	29
映像が暗い	明るさ、コントラストが正しく調節されていない。	明るさ、コントラストなど、映像の調節を行ってください。	28
	静音モードが設定されている。	静音モードを解除してください。	32
	ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換してください。	34
画像がぼやける	フォーカスかクロック位相が合っていない。	フォーカスとクロック位相を調節してください。	21,29

お知らせ

画面中に輝点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

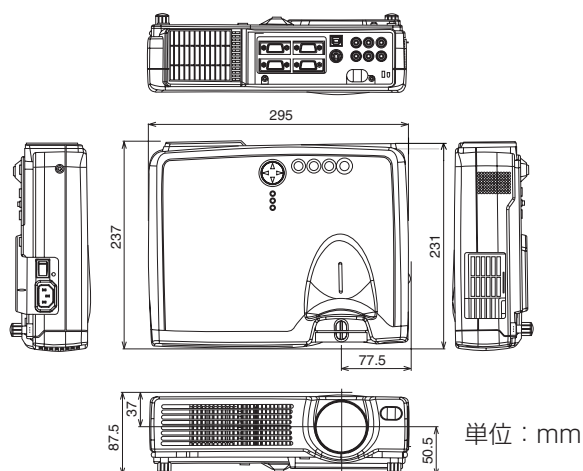
仕 様

お知らせ

- この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。
This liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本書の内容は製品仕様を含め改良のため、予告無く変更することがあります。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

項 目		仕 様
品 名		液晶プロジェクター
液晶 パネル	パネルサイズ	1.8cm (0.7型)
	駆 動 式	TFTアクティブマトリクス
	画 素 数	480,000画素 (水平800×垂直600)
レ ン ズ		ズームレンズ F=1.7～1.9 f=21.7～26.1mm
ラ ン プ		150W UHB
スピーカー		1.0W
電 源		AC100V (50Hz/60Hz)
消費電力		240W
使用温度範囲		0～35℃
外形寸法		295 (幅) × 87.5 (高さ) × 237 (奥行き) mm
質 量		2.7 kg
端 子		RGB端子 RGB IN(1, 2)2個 VIDEO端子 VIDEO IN1個 S-VIDEO IN1個 COMPONENT VIDEO (Y, CB/PB,CR/PR)1個 AUDIO端子 AUDIO IN(R, L)1個 出力端子 RGB OUT1個 コントロール端子 CONTROL1個 USB1個
別 売 品		交換用ランプ：DT00511 交換用エアフィルター：MU01691 ・その他についてはお買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせください。

● 外形寸法図



保証とアフターサービス

●必ずお読みください。

保証書 (別添)

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。ただし、ランプについては消耗品扱いとなります。

補修用性能部品の最低保有期間

- 液晶データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

●修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

●49、50、51ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品 名	液晶データプロジェクター
形 名	EDP-S100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ お買い上げ 店名	でんわ () -
---------------------	---------------------

長年ご使用の液晶データプロジェクターの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながる場合があります。

ご使用の際、このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 電源プラグ、コードが異常に熱い。
- 変な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- 煙が出たりする。
- その他の異常や故障がある。

●ご使用中止●

このような場合、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

液晶データプロジェクターは、このように正しくお使いください。

●電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。



愛情点検

E/MO®株式会社 エルモ社

本 社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	(052) 811-5131	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	(03) 3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	(052) 824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪府中央区東高麗橋2番4号	(06) 6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号朝日プラザ2階	(092) 281-4131	〒812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北四条西15丁目1番40号	(011) 631-8636	〒060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号エントセービル	(022) 266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号広島ドルチェ	(082) 248-4800	〒730-0041

URL: <http://www.elmo.co.jp>

*所在地電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。